marantz®

CD Player

CD5003

取扱説明書

このたびはマランツ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

■ 付属品の確認

ご使用の前に下記の付属品がそろっていることを確認してください。

- リモコン..1個

- 単4乾電池..2個

- 電源コード..1本

- オーディオケーブル（赤･白）..........................1組

- リモート接続ケーブル（オレンジ）......................1本

- 取扱説明書（本書）....................................1冊

- 保証書（箱に貼付）....................................1枚

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 10cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけてください。アンプ等の発熱の多いものの上に置かないでください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は 50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

警告

- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、再生がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス＋とマイナス－の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜたり、種類の違う電池を混ぜたりして使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ご不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁し、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って火気のない場所に処分してください。
- 電池はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診断を受けて下さい。
- 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。

手を挟まれないように注意

指の怪我に注意

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

注　意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- この機器または電池が入ったリモコンを次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

  窓を閉めきった自動車の中

  直射日光が当たる場所

  火や暖房器具など熱を発生する機器の近く
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- この機器の上に 5kg 以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

注　意

- 5 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池が液もれしている場合は、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷するおそれがありますので、取扱いには十分ご注意ください。誤って液が付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。この機器は、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  - 暖房開始直後の部屋
  - 湿気が多い部屋
  - 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

  このようなときは、曲数の読み込みができず、この機器が誤動作することがありますので 30 分位待ってから使用してください。
- この機器がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- 本機はパソコン用の CD-ROM や、ゲーム CD、ビデオ CD、DVD（ビデオ／オーディオ）、DTS-CD、などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損させる恐れがありますのでご使用にならないでください。

OPT_080311F1

主な特長

● マランツオリジナル HDAM®SA2 採用

本機には上位モデルのスーパーオーディオ CD プレーヤーやアンプで実績のある HDAM®SA2 を高速バッファーアンプとして搭載しました。
クラスを超えたハイスピードで高品位な再生をお楽しみいただけます。

● シーラスロジック社製高性能 D/A コンバーター CS4392 を搭載

高い評価をいただいているマランツのスーパーオーディオ CD プレーヤーと同様、音質の重要な要素を占める D/A コンバーターには、シーラスロジック製の 192kHz/24bit 対応品である、CS4392 を採用しました。スーパーオーディオ CD や DVD オーディオにも対応できる性能を持つ高性能 D/A コンバーターです。（本機は音楽CDおよびMP3／WMAファイルの再生のみに対応しています。）

● Audio EX 搭載

より高音質でお楽しみいただくために、ピッチコントロール、デジタルアウトおよび表示機能をオフにする設定の Audio EX モードを搭載しました。
（→ 26 ページ）

● 高品位ヘッドホン回路搭載

高速電流バッファーアンプを搭載した高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聞く場合などに高音質で楽しむことができます。

● MP3、WMA ファイル再生に対応

CD-R や CD-RW ディスクに記録した MP3 ファイルや WMA ファイルを再生することができます。
（→ 27 ページ）

● ピッチコントロール機能搭載（音楽 CD のみ）

再生スピード（ピッチ）を± 12 段階の範囲で変えることができる「ピッチコントロール機能」を搭載しました。（→ 23 ページ）

● クイックリプレイ（音楽 CD のみ）

再生中、ワンタッチで任意に設定した時間（設定範囲：5 ～ 60 秒）だけ前に戻って再生する「クイックリプレイ機能」を搭載しました。
再生中の曲を、少し前に戻して聴き直すことができます。（→ 17 ページ）

● CD-TEXT 表示対応

CD-TEXT とは従来の音楽 CD にアルバム名、曲名などの文字情報を記録した音楽ディスクです。以下のようなロゴが付いた CD が対応しています。

CD TEXT

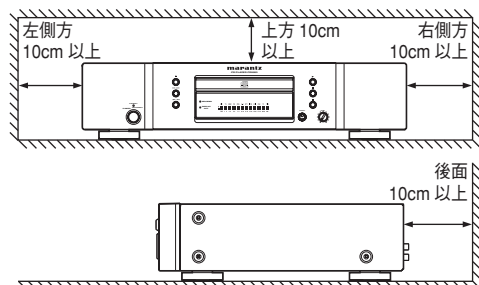
これらの文字情報は、従来の音楽 CD では使用されていなかった部分に記録されています。
本機ではディスクに記録された文字情報を見ることができます。（英数字のみに対応しています。）

ご使用の前に

■ 次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器が近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- アンプ等の発熱の多いものの上
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

■ 上に物をのせない

- 本機の上に物をのせないでください。

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流(AC) 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域、60Hz 地域のどちらでも使用できます。

■ 電源コードの取扱いかた

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- 長い間お出かけの前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

■ 製品内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及び製品内部の修理は行わないでください。

■ 使用上の注意

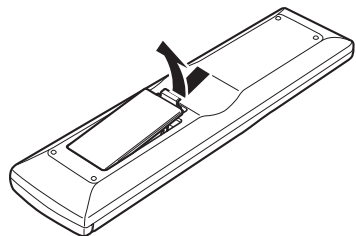
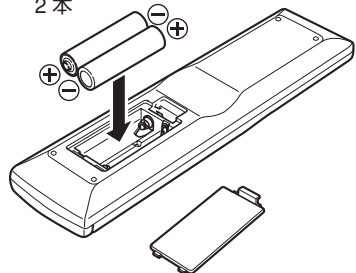
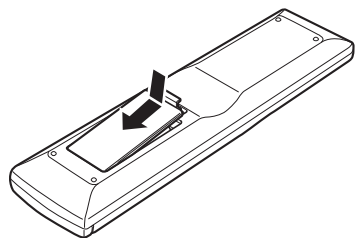
- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。CD プレーヤーは、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  - 暖房開始直後の部屋
  - 湿気が多い部屋
  - 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

  このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので 30 分位待ってから使用してください。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、演奏がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- 本機は、音楽用 CD(コンパクトディスク)、MP3／WMA フォーマットに圧縮したデータファイルの再生専用オーディオプレーヤーです。パソコン用の CD-ROM や、ゲーム CD、ビデオ CD、DVD、DTS-CD などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

ご使用の前に

■ リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

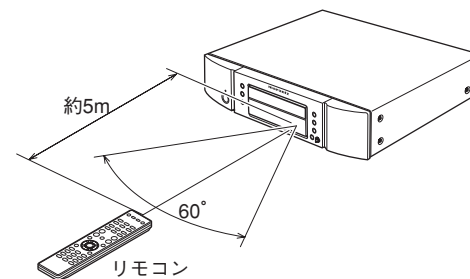
① 裏ぶたをはずします。

② 電池の ⊕⊖ を正しく入れます。

③ カチッと音がするまでしめます。

■ リモコンの使用について

● 乾電池の取り扱い方について

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

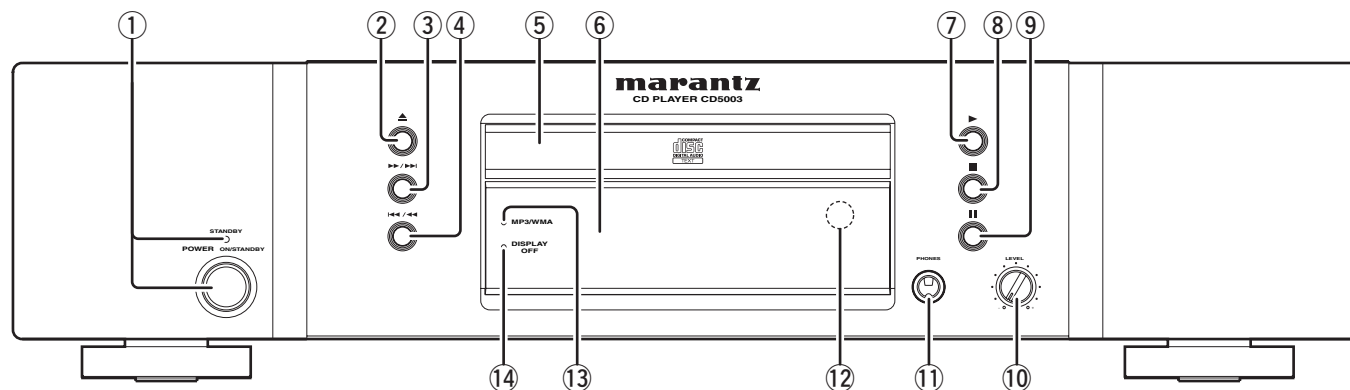
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ 向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

■ リモコンの使用できる範囲

リモコンと本機の操作可能範囲は下図のとおりです。

● 使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称

前面

① **POWER ON／STANDBY**

電源の ON／STANDBY（待機状態）を切替えます。
押すと表示窓が点灯し、電源が入ります。
もう一度押すと待機状態（STANDBY）になりランプが点灯します。

② **⏏（オープン／クローズ：開／閉）ボタン**

ディスクトレイを開閉するボタンです。押すとディスクトレイが開きます。もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。

③ **▶▶/▶▶I（サーチ／トラック スキップ）ボタン**

曲の頭出しをするときに押します。押した回数だけ次の曲へスキップします。再生中に押し続けると早送りします。

④ **I◀◀/◀◀（トラック スキップ／サーチ）ボタン**

曲の頭出しをするときに押します。1 度押すと再生中の曲の頭に戻り、押した回数だけ前の曲に戻ります。再生中に押し続けると早戻しします。

⑤ **ディスクトレイ**

CD を入れるトレイです。

⑥ **表示窓**

設定状態や再生状況、テキスト情報などを表示します。

⑦ **▶（プレイ：再生）ボタン**

再生を開始するボタンです。

⑧ **■（ストップ：停止）ボタン**

再生を停止するボタンです。

⑨ **II（ポーズ：一時停止）ボタン**

再生を一時停止するボタンです。

⑩ **PHONES LEVEL（ヘッドホンレベル）つまみ**

ヘッドホンの音量を調整するつまみです。右に回すとヘッドホンの音量が大きくなります。

⑪ **PHONES（ヘッドホン）端子**

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは標準プラグのものをご使用ください。

⑫ **赤外線受光部**

リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

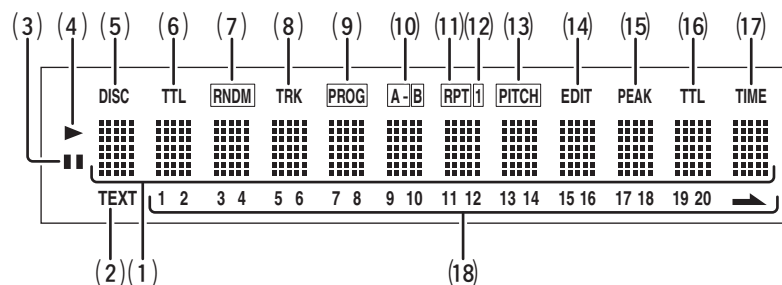
⑬ **MP3／WMA インジケーター**

MP3／WMA ファイルの再生を行っているときに点灯します。

⑭ **DISPLAY OFF（ディスプレイオフ）インジケーター**

DISPLAY OFF（表示窓の消灯）のときに点灯します。

各部の名称

表示窓

(1) **メイン表示部**
再生するディスクの時間情報、文字(テキスト)情報、設定メニューなどを表示します。

(2) **TEXT(テキスト)インジケーター**
CD-TEXT 対応ディスクを入れたときに点灯します。

(3) **II(ポーズ:一時停止)インジケーター**
ポーズ(一時停止)時に点灯します。

(4) **►(プレイ:再生)インジケーター**
再生時に点灯します。

(5) **DISC(ディスク)インジケーター**
ディスクの目次情報「TOC」を読んでいるときに点滅します。

(6) **TTL(トータルトラック)インジケーター**
ディスクに記録されている総曲(トラック)数の表示の上に点灯します。

(7) **RNDM(ランダム)インジケーター**
ランダム再生時に点灯します。

(8) **TRK(トラック)インジケーター**
再生中の曲番(トラックナンバー)などの表示の上に点灯します。

(9) **PROG(プログラム)インジケーター**
プログラム再生時に点灯します。

(10) **A-B(A-B リピート)インジケーター**
A-B リピート再生時に点灯します。

(11) **RPT(リピート)インジケーター**
リピート再生時に点灯または点滅します。

(12) **1(1 曲リピート)インジケーター**
1 曲リピート再生時に点灯します。

(13) **PITCH(ピッチコントロール)インジケーター**
ピッチコントロール再生時に点灯します。

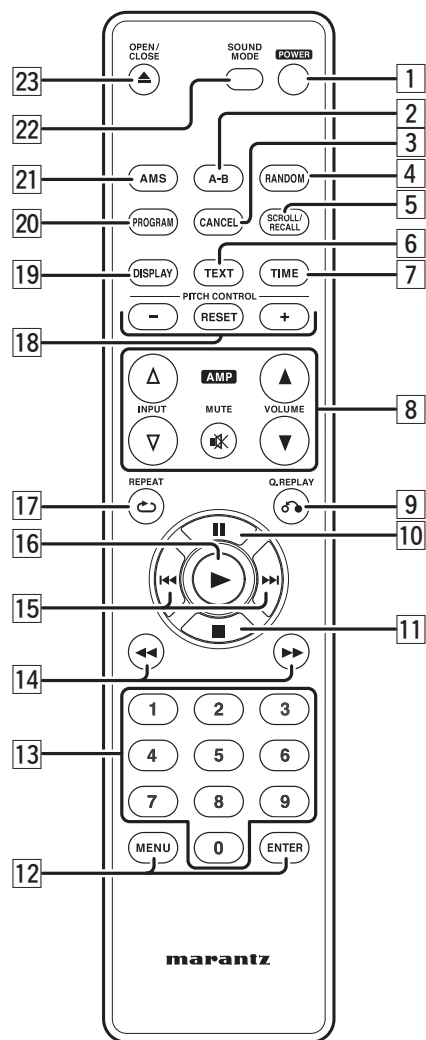
(14) **EDIT(エディット)インジケーター**
エディットモード中に点灯します。

(15) **PEAK(ピーク)インジケーター**
ピークサーチ中に点灯します。
曲中のピークサーチを再生中も点灯します。

(16) **TTL(トータルタイム)インジケーター**
総残り時間や、総プログラム時間を表示するときに、その上に点灯します。

(17) **TIME(タイム)インジケーター**
経過時間等の時間を表示しているときに点灯します。

(18) **1 〜 20、▬ (ミュージックカレンダー)**
ディスクに記録されている曲番数、再生中の残りの曲番数、プログラム再生でプログラムされた曲番を表示します。
(音楽 CD のみ)

リモコン

1 POWER（パワー）ボタン
電源の ON と STANDBY（待機状態）を切替えます。（→ 12 ページ）

2 A-B（A-B リピート）ボタン
指定した部分を繰り返し再生するときに、開始（A）点と終了（B）点を指定するボタンです。（→ 16、30 ページ）

3 CANCEL（キャンセル）ボタン
プログラムした曲を取り消すボタンです。（→ 20、21 ページ）

4 RANDOM（ランダム）ボタン
順不同で曲を再生するボタンです。（→ 16、30 ページ）

5 SCROLL/RECALL（スクロール／リコール）ボタン
テキストを表示しているときに、テキスト表示をスクロールするボタンです。
プログラム再生時に押すと、プログラムした曲を確認できます。（→ 21 ページ）

6 TEXT（テキスト）ボタン
メイン表示部を時間表示からテキスト表示に変えるボタンです。
（→ 22、27、19 ページ）

7 TIME（タイム）ボタン
メイン表示部をテキスト表示から時間表示に切替えるボタンです。
再生中の時間表示を切替えることもできます。（→ 19 ページ）

CD：
トラック内での経過時間、残り時間、ディスク全体での残り時間を表示できます。

MP3／WMA：
ファイルの経過時間、残り時間を表示できます。

8 ▲、▼（ボリューム）ボタン △、▽（インプット）ボタン MUTE（ミュート）ボタン
マランツ製プリメインアンプの対応機種の操作を行うことができます。詳しくは、プリメインアンプの取扱説明書をご覧ください。

9 Q. REPLAY（クイックリプレイ）ボタン
現在再生している位置から設定した時間だけ戻って、再生を再開するボタンです。（→ 17 ページ）

10 ❚❚（ポーズ：一時停止）ボタン
再生を一時停止するボタンです。

11 ■（ストップ：停止）ボタン
再生を停止するボタンです。

12 MENU（メニュー）、ENTER（エンター）ボタン
MENU ボタン：
設定項目を表示するボタンです。
（→ 26 ページ）

ENTER ボタン：
設定内容を決定するボタンです。

13 数字（0 ～ 9）ボタン
再生する曲番（トラックナンバー）を指定するボタンです。

14 ◀◀、▶▶（サーチ）ボタン
◀◀： 再生中、押し続けると早戻しするボタンです。
▶▶： 再生中、押し続けると早送りするボタンです。

15 I◀◀、▶▶I（トラックスキップ）ボタン
I◀◀： 再生中の曲の頭や、前の曲の頭に戻るボタンです。
▶▶I： 次の曲の頭に進むボタンです。

16 ▶（プレイ：再生）ボタン
再生を開始するボタンです。

17 REPEAT（リピート）ボタン
1 曲またはディスクの全曲を繰り返し再生するボタンです。（→ 16、29、30 ページ）

18 PITCH －、RESET、＋（ピッチコントロールダウン、リセット、アップ）ボタン
再生スピード（ピッチ）を調整（± 12 段階）するボタンです。（音楽 CD のみ）
（→ 23 ページ）
また、MP3・WMA のフォルダを選択するボタンです。（→ 28 ページ）

19 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン
表示窓を消灯（DISPLAY OFF）するボタンです。（再生中のみ消灯します。）

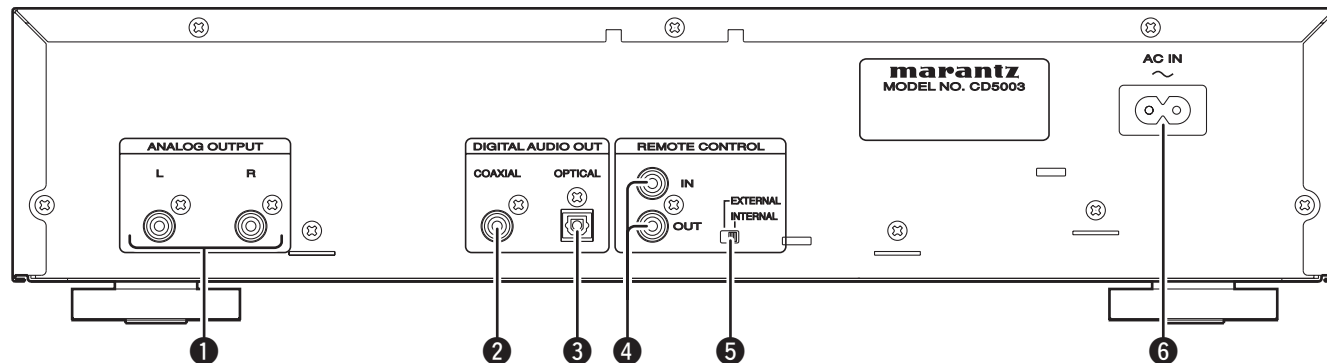
20 PROGRAM（プログラム）ボタン
プログラム再生をするときに押すボタンです。
（→ 18 ページ）

21 AMS（オートミュージックスキャン）ボタン
1 曲目から順番に全曲の各冒頭を設定した時間だけ次々に再生するときに押すボタンです。
（→ 17 ページ）

22 SOUND MODE（サウンドモード）ボタン
Audio EX モードの選択（→ 26 ページ）およびピッチコントロールを使用する（→ 23 ページ）設定に切り替えるボタンです。

23 ⏏（オープン／クローズ）ボタン
ディスクトレイを開閉するボタンです。押すとディスクトレイが開きます。もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。

各部の名称

後面

❶ ANALOG OUT（アナログ出力）端子

再生中の音楽信号を出力する端子です。

❷ DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL（同軸デジタル出力）端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する同軸出力端子です。

ご注意

デジタル信号が出力されない設定があります。詳しくは 26 ページの"デジタル出力をオフにする"と"Audio EX を切り替える"を参照してください。

❸ DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（光デジタル出力）端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する光出力端子です。

ご注意

デジタル信号が出力されない設定があります。詳しくは 26 ページの"デジタル出力をオフにする"と"Audio EX を切り替える"を参照してください。

❹ REMOTE CONTROL IN／OUT（リモートコントロール入出力）端子

当社製品でリモートコントロール端子を装備した機種と、付属のリモート接続ケーブルで接続する端子です。アンプなどを中心としたシステムコントロールが可能となります。

❺ EXTERNAL／INTERNAL（エクスターナル／インターナル）スイッチ

スイッチはお買い上げ時 INTERNAL に設定されていて、本機に内蔵されているリモコン信号受光部を使用できます。

当社製品と付属の接続ケーブルでリモートコントロール端子に接続する場合は、スイッチを EXTERNAL に切り替えて使用します。

ご注意

本機を単独で使用する場合、スイッチが EXTERNAL に設定されていると、リモコンからの信号を受信できなくなります。

❻ 電源コード接続端子

付属の電源コードを使用して、ご家庭の電源コンセントに接続してください。

万一の事故防止のため、本機から電源コードが外せる配置にしてください。

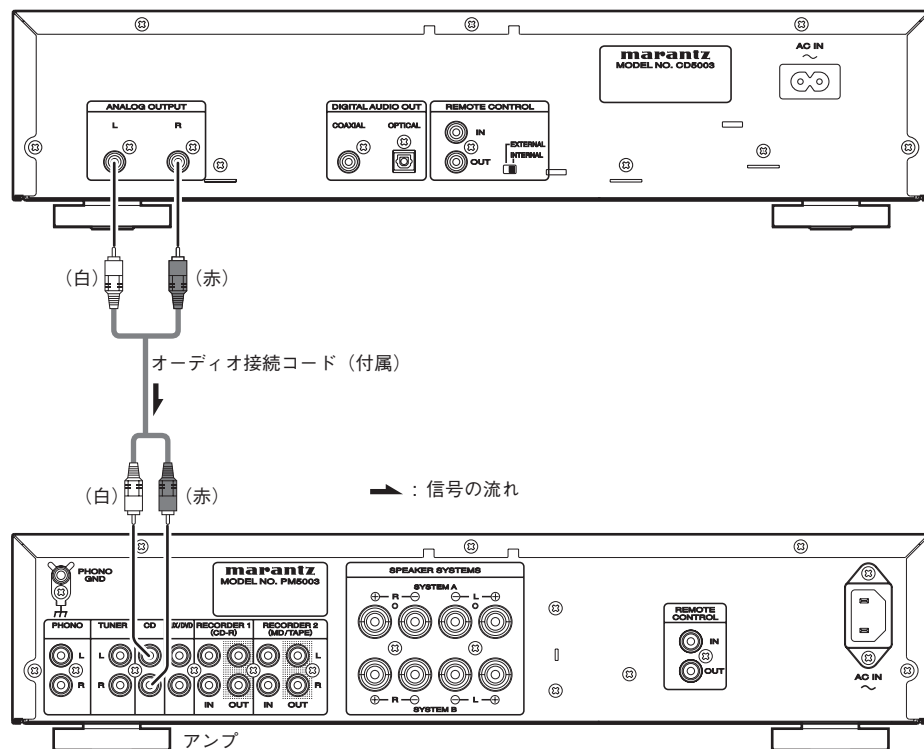
基本接続

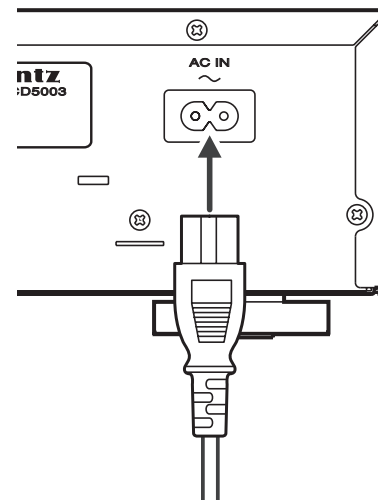
アンプ、CD レコーダーなどと本機を接続します。正しく接続を行なうため、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
また、接続するときは各機器の電源を必ず切ってください。

アンプとの接続

本機をステレオアンプや AV アンプにオーディオ接続コードを使用して接続します。
接続するときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因となります。

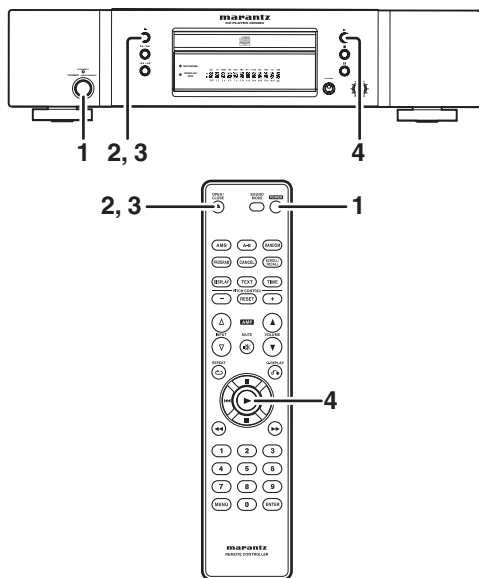
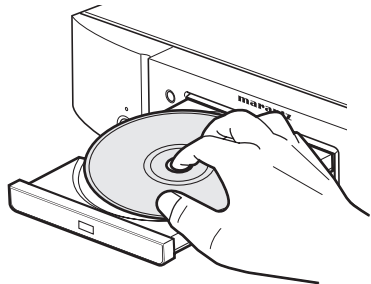
ご注意

アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

電源コードの接続および電源を入れる

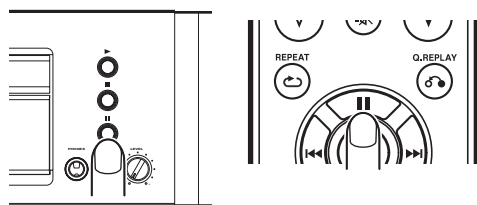
1 付属の電源コードをプレーヤーの背面の電源コード接続端子に差し込んでください。

2 接続したオーディオ機器（アンプ等）の電源スイッチを入れてください。その際オーディオ機器のセレクトボタンは本機と接続した入力を選択してください。

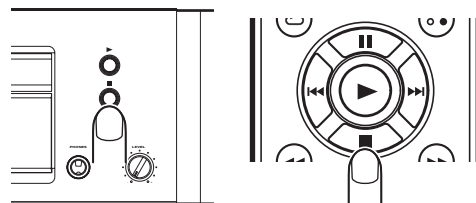
3 電源コードをコンセントに差し込んでください。

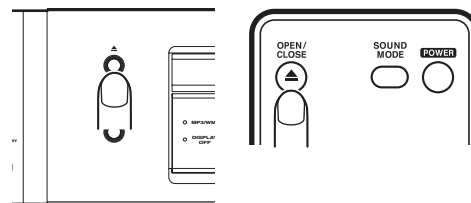
基本操作 ー音楽 CD ー

CD を再生する

1 本機またはリモコンの POWER（パワー）ボタンを押し電源を入れます。
2 本機またはリモコンの ▲（オープン／クローズ）ボタンを押します。出てきたディスクトレイに、再生する CD を文字が印刷されているレーベル面を上にしてのせます。

シングル（8cm）CD は、トレイ中央のくぼみに合わせてのせてください。

3 ▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。ディスクトレイが閉まると、表示部に“TOC Reading”と表示した後、CD の総曲数と総再生時間を表示します。
CD-TEXT 対応ディスクの場合、アルバムタイトルを表示した後、CD の総曲数と総再生時間を表示します。
4 本機の ►（プレイ）ボタン、またはリモコンの ►（プレイ）ボタンを押すと再生が始まります。アンプの音量を調整します。

■ 再生を一時停止する

再生中に本機の ❚❚ ボタン、またはリモコンの ❚❚ ボタンを押すと再生が一時停止します。
もう一度本機の ❚❚ ボタンまたは ► ボタンを押すか、リモコンの ❚❚ ボタンまたは ► ボタンを押すと、一時停止した場所から再生を始めます。

■ 再生を止める

再生中に本機またはリモコンの■ボタンを押します。

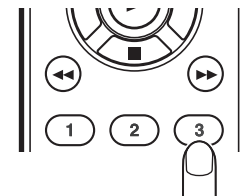
■ CD を取り出す

再生を止めたあと、本機またはリモコンの ▲ ボタンを押してディスクトレイを開け、CD を取り出します。
取り出したあとはもう一度 ▲ ボタンを押してディスクトレイを閉じます。本機を使わないときはディスクトレイを必ず閉めておいてください。

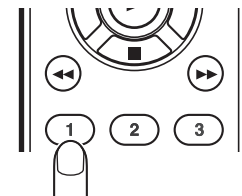
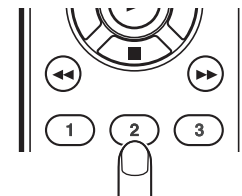
聴きたい曲（トラック）を再生する

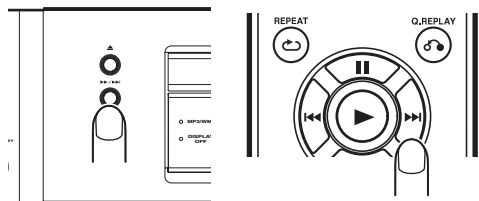
■ 曲番を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

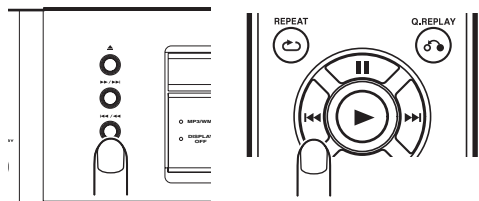
聴きたい曲番（トラックナンバー）をリモコンの数字ボタン（0 ～ 9）を押して、直接選びます。
10 曲目以降の曲番を選ぶときは、10 の位→ 1 の位という順に数字ボタンを押します。
曲番が選ばれると自動的に再生を始めます。

例：3 曲目を再生するとき

数字ボタン“3”を押します。

例：12 曲目を再生するとき

数字ボタン“1”を押します。

1.5 秒以内に数字ボタン“2”を押します。

■ 前の曲や次の曲を再生する（トラックスキップ）

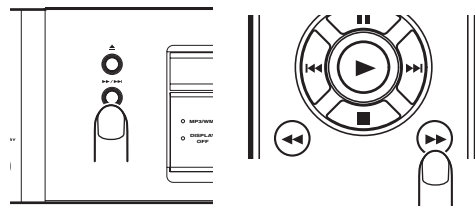
次の曲に進む

進めたい曲数分だけ本機の ▶▶/▶▶I ボタンまたはリモコンの ▶▶I ボタンを押します。

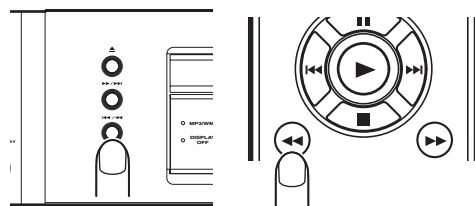
再生中の曲の頭または前の曲に戻る

本機の I◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンの I◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。

曲の中の聴きたい部分を再生する

■ 曲の中の聴きたい部分を探す（サーチ）

曲を再生中、聴きながら早送り／早戻しをして聴きたい部分を探すことができます。

再生中の曲を早送りする

本機の ▶▶/▶▶I ボタンまたはリモコンの ▶▶ ボタンを押しつづけるとサーチ（早送り）になります。

再生中の曲を早戻しする

本機の I◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンの ◀◀ ボタンを押しつづけるとサーチ（早戻し）になります。

応用接続

デジタルオーディオ機器との接続

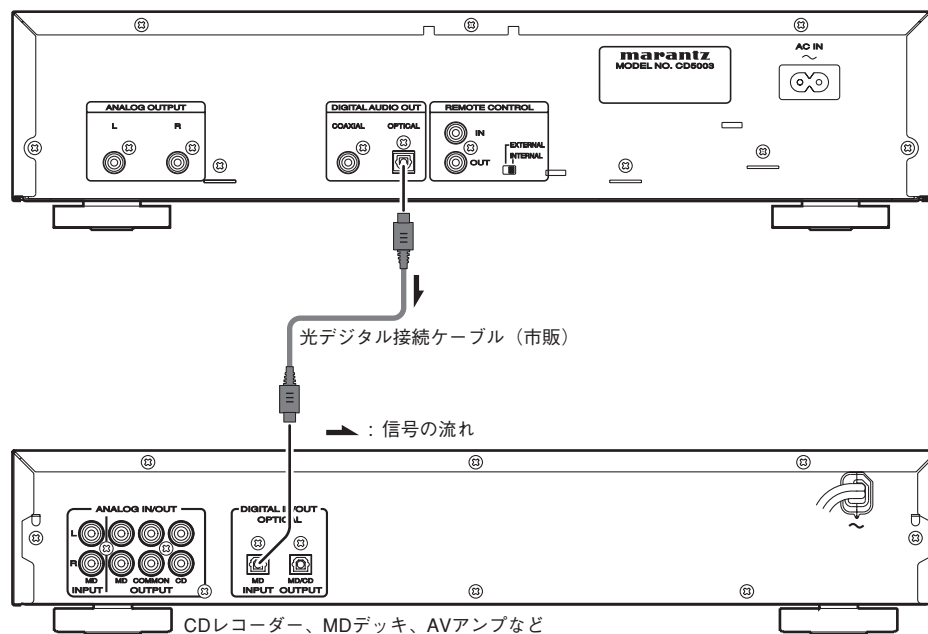
本機はデジタル出力端子を OPTICAL（光）・COAXIAL（同軸）各 1 系統装備しています。
本機と CD レコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、デジタル録音がお楽しみいただけます。

■ OPTICAL（光）出力端子を接続する

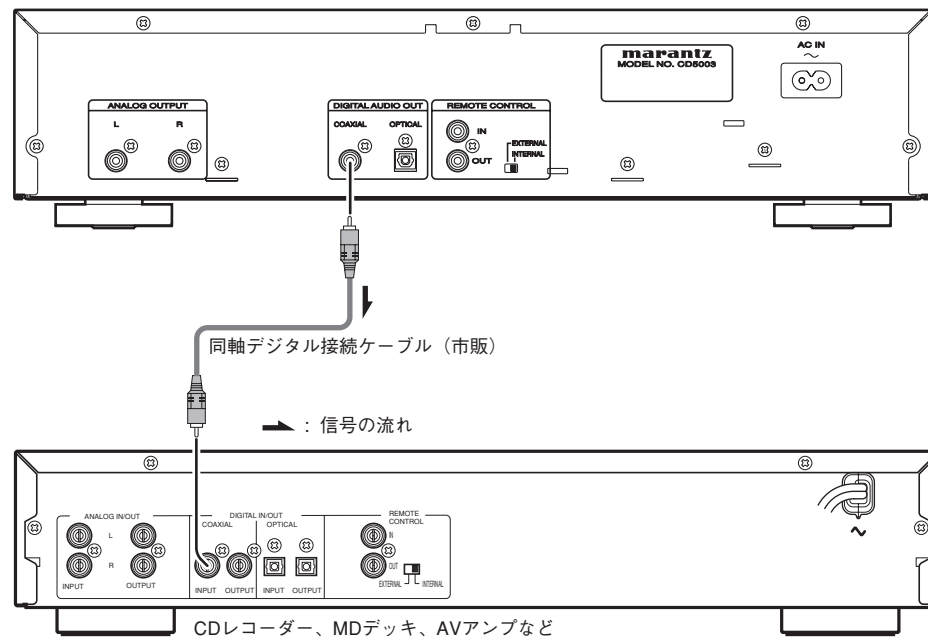
市販の光デジタル接続ケーブルを使用します。プラグがカチッと音がするまで確実に差し込んでください。光デジタル接続ケーブルは折り曲げたり、束ねたりしないでください。

光デジタル接続ケーブル（市販）

：信号の流れ

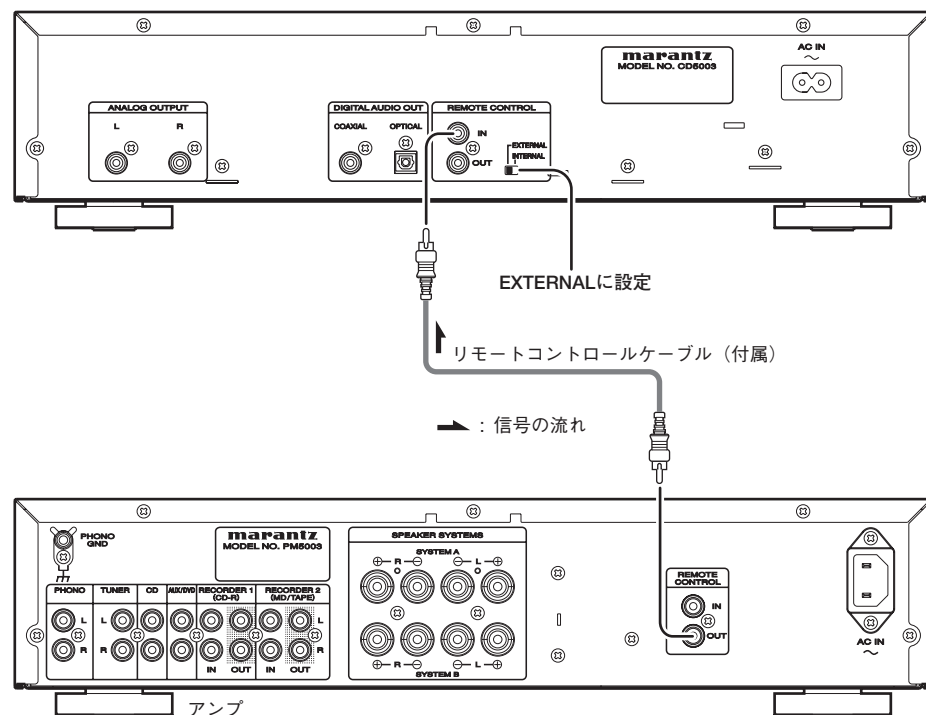
CDレコーダー、MDデッキ、AVアンプなど

■ COAXIAL（同軸）出力端子を接続する

市販の同軸デジタル接続ケーブルを使用します。

CDレコーダー、MDデッキ、AVアンプなど

応用接続

リモートコントロール端子

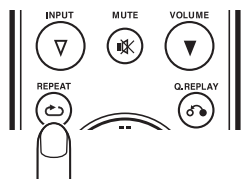
付属のリモートコントロールケーブルを使って、本機を他のマランツ製オーディオ機器に接続すると、1 台のシステムとして接続した機器をリモートコントロールできます。

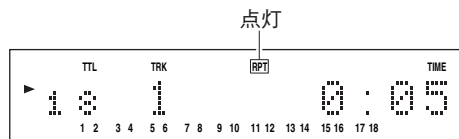
- リモートセンサーを搭載している機器と接続するとき、本機の“REMOTE CONTROL IN”と接続する機器の“REMOTE CONTROL OUT”端子を接続してください。
  このとき、本機のスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。本機のリモコン赤外線受光部が動作しなくなり、接続した機器のリモコン赤外線受光部を通して操作することができます。
- 本機を単独で使用する場合は、スイッチを“INTERNAL”に設定してください。

応用操作 ー音楽 CD ー

繰り返し聴く（リピート再生）

■ 全曲を繰り返し聴く（全曲リピート再生）

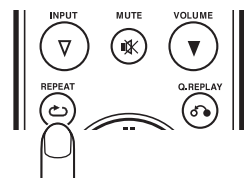
全曲を繰り返し再生します。ランダム再生やプログラム再生なども繰り返し再生できます。

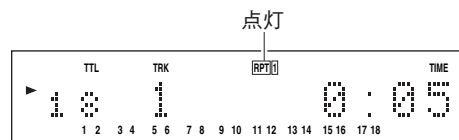
リモコンの REPEAT ボタンを押します。

表示窓の"RPT"インジケーターが点灯し、全曲を繰り返し再生します。

点灯

全曲リピートをやめて通常再生にするときは、リモコンの REPEAT ボタンを 2 回押します。表示窓の"RPT"インジケーターが消えます。

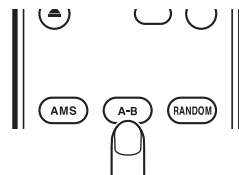
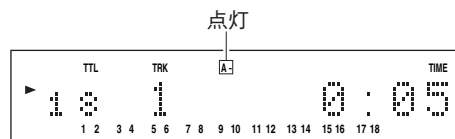
■ 1 曲だけを繰り返し聴く（1 曲リピート再生）

1 曲だけを繰り返し再生します。ランダム再生やプログラム再生をしている時も、再生中の曲を繰り返します。

繰り返し聴きたい曲の再生中に、リモコンの REPEAT ボタンを 2 回押します。

"RPT"、"1"インジケーターが点灯し、再生中の曲を繰り返します。

点灯

1 曲リピートをやめて通常再生にするときは、REPEAT ボタンを押して表示窓の"RPT"インジケーターを消します。

■ 指定した部分を繰り返し聴く（A-B リピート再生）

曲の中で聴きたい部分だけ指定して、繰り返し再生します。

1 再生中、繰り返し聴きたい部分の開始点で、リモコンの A-B ボタンを押します。

表示窓に"A-"インジケーターが点灯します。

点灯

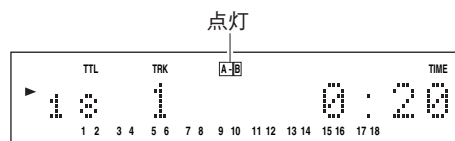
2 繰り返し聴きたい部分の終わりで、リモコンの A-B ボタンを押します。

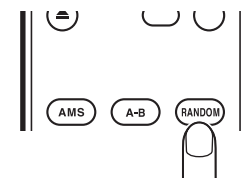
表示窓に"A-B" インジケーターが点灯し、指定した部分（A 点～ B 点）を繰り返し再生します。

点灯

A-B リピートをやめて通常再生にするときは、リモコンの A-B ボタンを押して表示窓の"A-B" インジケーターを消します。

ご注意

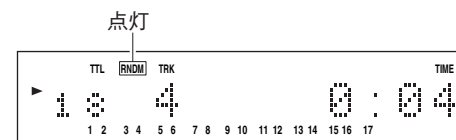
ランダム再生中、A-B リピート再生はできません。

順不同で曲を再生する（ランダム再生）

無作為（ランダム）に曲順を並び変えて、順不同で全曲を再生します。リピート再生も合わせて使用すると、毎回違う曲順で再生を繰り返すこともできます。

再生中、または停止中にリモコンの RANDOM ボタンを押します。

表示窓のミュージックカレンダーが流れるように点灯し、"RNDM"インジケーターが点灯します。

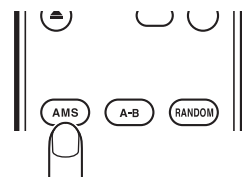
点灯

ランダム再生を開始します。

点灯

ランダム再生をやめて通常再生にするときは、リモコンの RANDOM ボタンを押します。表示窓の"RNDM"インジケーターが消えます。

■ ランダム再生中にトラックスキップし、曲の頭出しをする

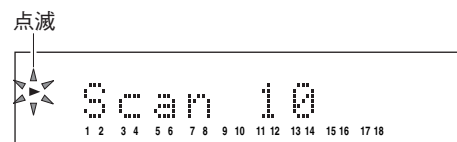
ランダム再生中に本機の ▶▶/▶▶I ボタンまたはリモコンの ▶▶I ボタンを押すと、次の曲を無作為に選び、再生します。

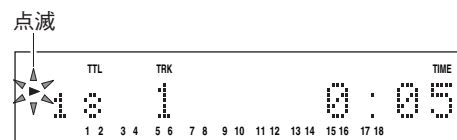
ランダム再生中に本機の I◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンの I◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻って再生します。

聴きたい曲を探す(AMS 再生)

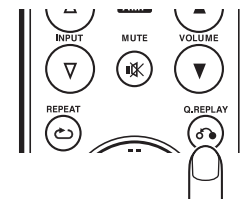
1 曲目から順番に全曲の冒頭を次々に再生しますので、聴きたい曲を探すときに便利です。
再生時間は、10、20、30 秒から選択できます。

停止中または再生中にリモコンの AMS(オートミュージックスキャン)ボタンを押します。

AMS ボタンを繰返し押すとモードが順番に変ります。
"Scan 10"、"Scan 20"、"Scan 30"、"Scan Off"...
(Scan Off はスキャンを中止します)
表示窓に"►"インジケーターが点滅します。

点滅

1 曲目から順番に全曲の各冒頭を設定した時間(お買い上げ時は 10 秒)だけ次々に再生します。

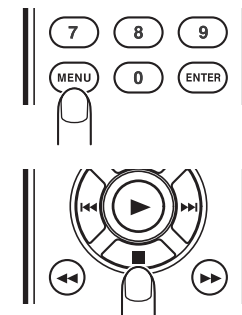
点滅

聴きたい曲が見つかったらもう一度 ► ボタンを押します。"►" インジケーターが点灯し、その曲以降を通常に再生します。
なお、AMS 再生中にリモコンの RANDOM ボタンを押すと AMS 再生は解除され、ランダム再生になります。

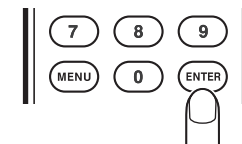
再生中に少し前に戻して聴く(クイックリプレイ)

再生中に Q.REPLAY ボタンを押すと MENU で設定された時間だけ戻って再生します。

ご注意

トラックを越えての再生はできません。
また、再生中のトラックの総時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合、または再生時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合には Q.REPLAY ボタンを押すとその曲の曲頭に戻り再生します。

クイックリプレイの時間設定をするには

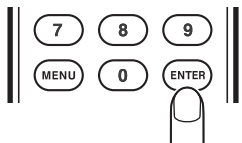
1. ディスクトレイにディスクが挿入されている場合は、ディスクを取り出し、トレイを閉めます。
2. リモコンの MENU ボタンを押したあと、リモコンの ■ ボタンを 4 回押します。
   "Quick Replay"と表示されます。

Quick Replay

3. リモコンの ENTER ボタンを押します。

ディスプレイに現在設定されている時間を表示します。
(お買い上げ時は、10 秒に設定されています。)

Q. Rep. :10sec

応用操作 ー音楽 CD ー

4 |◀◀ または ▶▶| ボタンで時間を設定します。（5秒〜 60 秒）

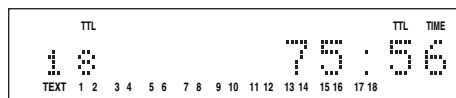
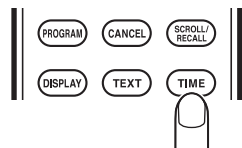
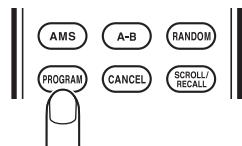
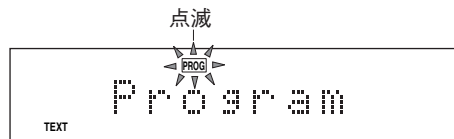
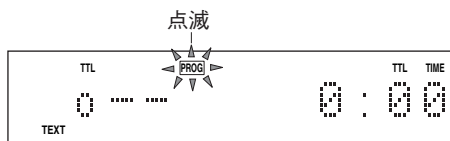
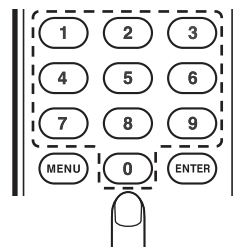
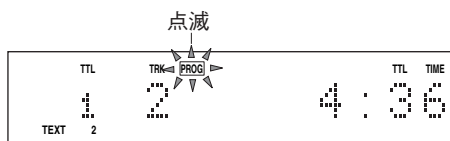
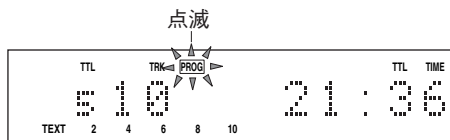
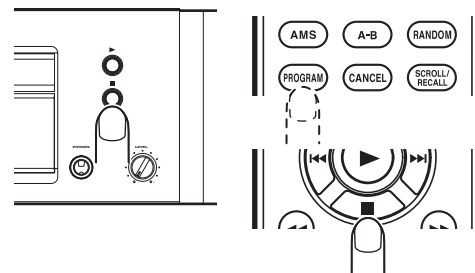
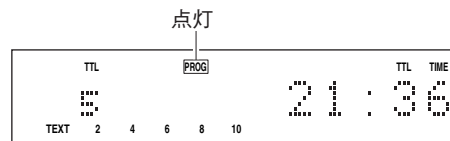
5 設定後 ENTER ボタンを押します。
通常の表示に戻ります。

ご注意

- これらの一連の操作中に約 4 秒間キー入力が無かった場合、そのときの条件で設定され、時間表示に戻ります。

曲を好きな順番で聴く（プログラム再生）

CD の曲を好きな順番に並べ替えて聴くことができます。
最大 30 曲までをプログラム再生できます。

■ 時間表示でのプログラム再生

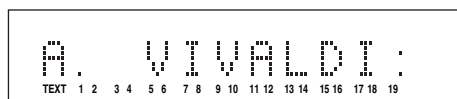
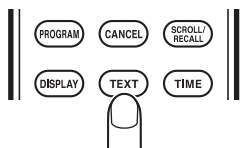
CD-TEXT ディスクの場合、まずリモコンの TIME ボタンを押して、時間表示にします。

1 停止中にリモコンの PROGRAM ボタンを押します。

メイン表示部に“Program”と一瞬表示します。

PROG インジケーターが点滅し、プログラムモードになります。

2 曲番に合わせてリモコンの数字ボタンを押します（リモコンの |◀◀ ボタンと ▶▶| または本機の |◀◀/◀◀ ボタンと ▶▶/▶▶| ボタンでも選択できます）。10 曲目以降の曲番を選ぶときは、10 の位、1 の位、という順に数字ボタンを押します。

【表示例】 2 曲目を選んだとき

3 手順 2 を繰り返して、聴きたい曲を順番にプログラムします。プログラムするごとに、メイン表示部にプログラムした曲数とその合計時間が表示されます。最大 30 曲までプログラムできます。

4 全てのプログラムが終わったら、本機やリモコンの ■ ボタンまたはリモコンの PROGRAM ボタンを押します。

PROG インジケーターが点滅から点灯に変わり、プログラムが確定します。

5 本機の ► ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。プログラムした順番に再生が始まります。

なお、手順 4 を省略してもプログラム再生を開始します。

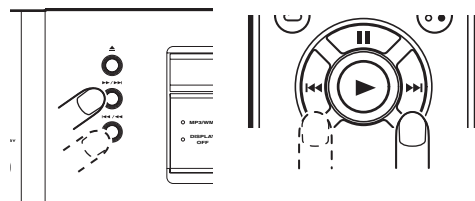
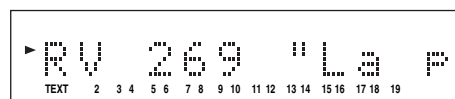
■ テキスト表示でのプログラム再生

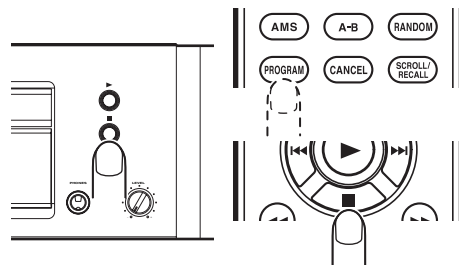
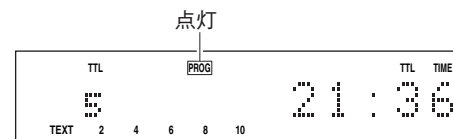
CD-TEXT ディスクの場合、曲名（タイトル）で選んでプログラム再生することができます。

メイン表示部が時間表示になっているときはリモコンの TEXT ボタンを押し、テキスト表示にします。

A. VIVALDI:

1 停止中にリモコンの PROGRAM ボタンを押します。

メイン表示部に“Program”と一瞬表示してから PROG インジケーターが点滅し、プログラムモードになります。

2 曲番に合わせてリモコンの ⏮、⏭ ボタン、または本機の ⏮/◀◀、▶▶/⏭ ボタンで曲を選択します（リモコンの数字ボタンでも選択できますが、その場合は曲名を表示しません）。

選択された曲の曲名（タイトル）がスクロールされ、スクロールが完了すると自動的にプログラムされます。 プログラムしない場合は、スクロールが完了する前に他の曲を選びます。

3 手順 2 を繰り返して、聴きたい曲を順番にプログラムします。　最大 30 曲までプログラムできます。

4 全てのプログラムが終わったら、リモコンや本機の ■ ボタンまたはリモコンの PROGRAM ボタンを押します。

PROG インジケーターが点滅から点灯に変り、プログラムが確定します。

5 本機の ▶ ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押します。 プログラムした順番に再生が始まります。

なお、手順 4 を省略してもプログラム再生ができます。

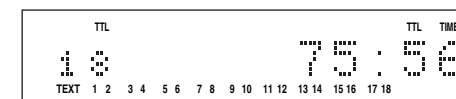
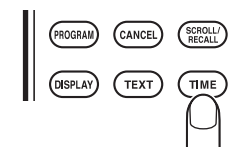
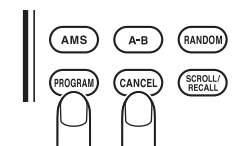
ご注意

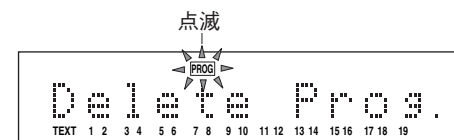
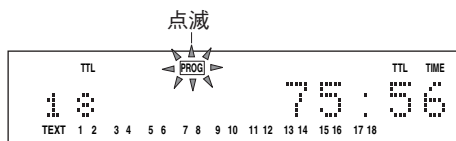
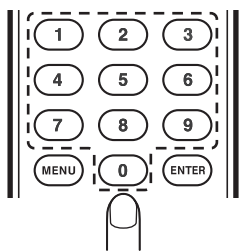
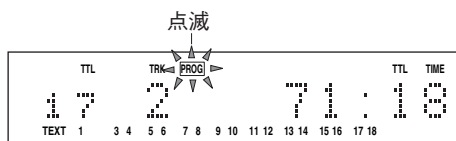
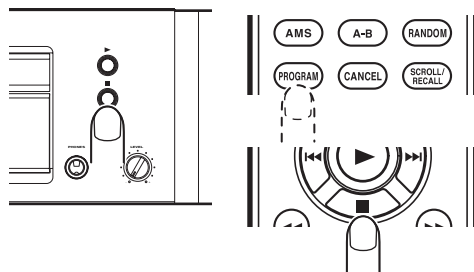
曲名（タイトル）のテキスト情報がない曲ではテキスト表示でのプログラムはできません。

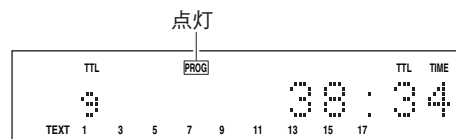
聴かない曲をとばして再生する（デリートプログラム再生）

聴かない曲をとばして再生することができます。 最大 30 曲まで再生する曲をプログラムから削除することができます。

■ 時間表示でのデリートプログラム再生

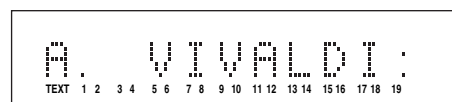
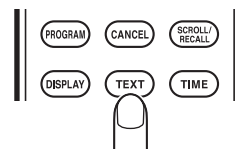
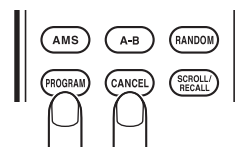
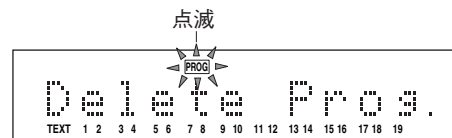
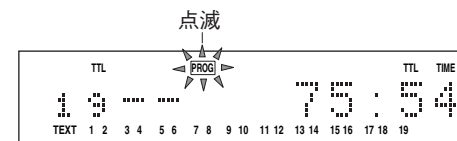
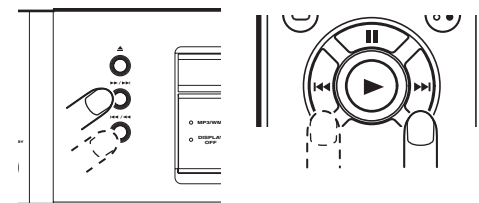
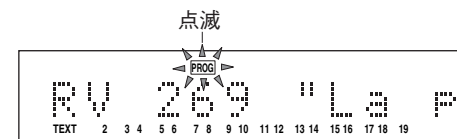
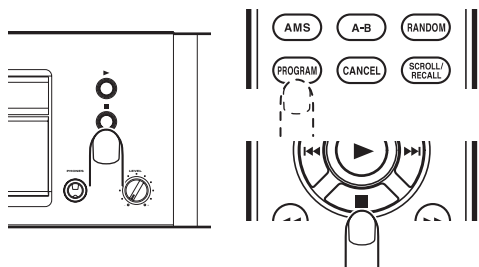
CD-TEXT ディスクの場合、まずリモコンの TIME ボタンを押して、メイン表示部を時間表示にします。

1 停止中にリモコンの PROGRAM ボタンを押し、続いて CANCEL ボタンを押します。

メイン表示部に“Delete Prog.”と一瞬表示します。

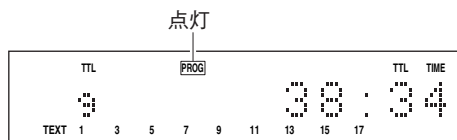
応用操作 ー音楽 CD ー

CD の総曲数と総再生時間がメイン表示部に表示され、PROG インジケーターが点滅し、デリートプログラムモードになります。

2 聴かない曲に合わせてリモコンの数字ボタンを押します(リモコンの ⏮ ボタンや ⏭ ボタン、本機の ⏮/◀◀、▶▶/⏭ ボタンでも曲を選択できます)。

【表示例】 2 曲目を選んだとき

3 手順 2 を繰り返して、プログラムが終わったら本機やリモコンの ■ ボタンまたはリモコンの PROGRAM ボタンを押します。

表示窓の PROG インジケーターが点滅から点灯に変り、デリートプログラムが確定します。

最大 30 曲までプログラムから削除することができます。

4 本機の ▶ ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押すと、削除した曲をとばして再生します。

■ テキスト表示でのデリートプログラム再生

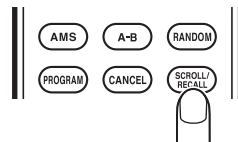
CD-TEXT ディスクの場合、曲名(タイトル)で削除する曲を選んでデリートプログラム再生することができます。

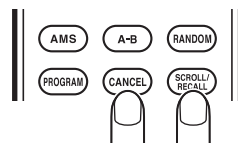
メイン表示部が時間表示になっているときはリモコンの TEXT ボタンを押し、テキスト表示にします。

1 停止中にリモコンの PROGRAM ボタンを押し、続いて CANCEL ボタンを押します。

メイン表示部に“Delete Prog.”と一瞬表示します。

CD の総曲数と総再生時間がメイン表示部に表示され、PROG インジケーターが点滅し、デリートプログラムモードになります。

2 リモコンの ⏮、⏭ ボタンまたは本機の ⏮/◀◀、▶▶/⏭ ボタンで聴かない曲を選択します(リモコンの数字ボタンでも選択出来ますがその場合は曲名が表示されません)。

選択された曲の曲名(タイトル)がスクロールされ、スクロールが完了すると自動的に削除されます。 削除しない場合は、スクロールが完了する前に他の曲を選びます。

3 手順 2 を繰り返して、プログラムが終わったら本機やリモコンの ■ ボタンまたはリモコンの PROGRAM ボタンを押します。

表示窓の PROG インジケーターが点滅から点灯に変り、デリートプログラムが確定します。

最大 30 曲までプログラムから削除することができます。

4 本機の ► ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。 削除した曲をとばして再生します。

ご注意

曲名（タイトル）のテキスト情報がない曲ではテキスト表示でのデリートプログラムはできません。

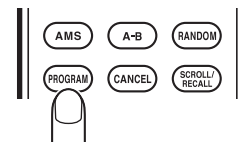
■ プログラムおよびデリートプログラムの内容を確かめる

プログラム中またはプログラム再生中にリモコンの SCROLL/RECALL ボタンを押します。
プログラム再生ではプログラムした曲が順番に次々とメイン表示部に表示されます。
デリートプログラム再生では削除した曲が順番に次々とメイン表示部に表示されます。

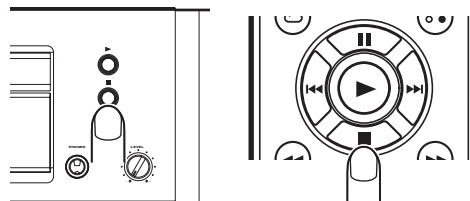
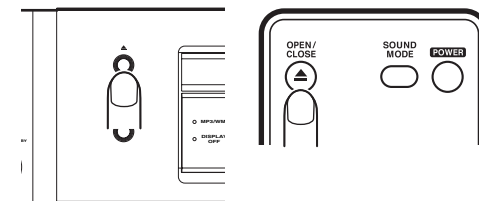
■ プログラムおよびデリートプログラムの内容を変更する

プログラム再生でプログラムした曲を取り消す

プログラム中にリモコンの SCROLL/RECALL ボタンを押すとプログラムした曲が順番 に次々と表示されます。
プログラムを取り消したい曲が表示されたら、すぐにリモコンの CANCEL ボタンを押します。 取り消した曲番が表示窓のミュージックカレンダーから消えます。

デリートプログラム再生で削除した曲を取り消す

デリートプログラム中にリモコンの SCROLL/RECALL ボタンを押すと削除した曲が順番に次々と表示されます。削除を取り消したい曲が表示されたら、すぐにリモコンの CANCEL ボタンを押します。削除を取り消した曲番が表示窓のミュージックカレンダーに点灯します。

■ プログラムの追加をする

停止中にリモコンのPROGRAMボタンを押します。表示窓の PROG インジケーターが点灯から点滅に変り、 プログラムが追加できます。

■ プログラム再生を普通の再生に戻す（プログラム全体を消す）

本機またはリモコンの ■ ボタンを、プログラム再生中なら 2 回、停止中なら 1 回押します。表示窓の PROG インジケーターが消灯し、プログラム全体が取り消しになります。

本機またはリモコンの ⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを開けてもプログラムを同様に取り消せます。

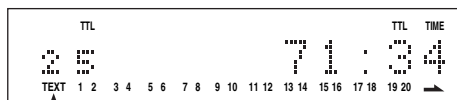
■ プログラム／デリートプログラム再生のご注意

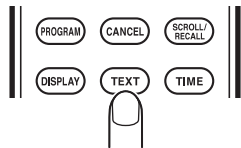
- 総曲数が 10 曲以上の CD で、数字ボタンを使って 1 〜 9 曲目を選ぶ場合、前の曲番のボタンを押してから約 1.5 秒以上の時間をおいて曲番の数字ボタンを押してください。
- 総曲数が 10 曲以上の CD で、数字ボタンを使って 10 曲目以降を選ぶ場合、10 の位の数字ボタンを押してから約 1.5 秒以内に 1 の位の数字ボタンを押してください。
- ⏮、⏭ ボタンでプログラムをする場合、希望の曲番が表示されるまでは 0.5 秒以内にボタンを押してください。
- プログラムの全時間が 99 分 59 秒を越えると時間表示は "—— : ——" になります。

応用操作 ー音楽 CD ー

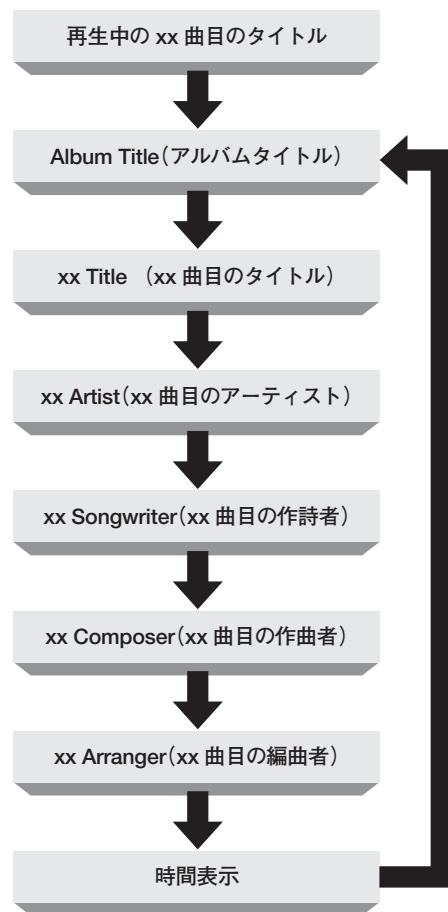
■ CD-TEXT について

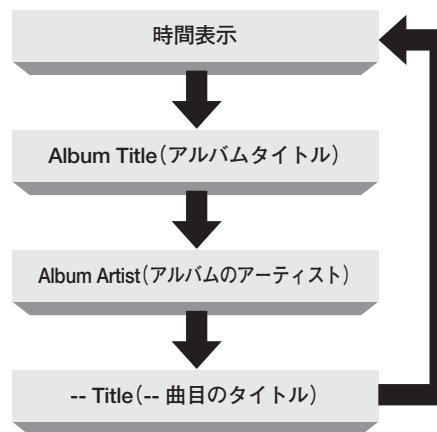
本機では CD-TEXT の記録されたディスクの文字情報を見ることができます。
ディスクが CD-TEXT 対応である場合、下図のように表示窓に点灯します。
表示文字数は最大 64 文字です。

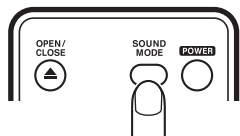
● 本機表示窓

読み込んだディスクが
TEXT 対応の場合に点灯

CD-TEXT ディスクの文字情報はリモコンの TEXT ボタンを押すことにより、右図のように表示されます。

ただし、記録されている情報はディスクにより異なりますので、全ての情報が表示されるとは限りません。本機では記録されていない項目は自動的に省略し、飛ばして表示します。

● 再生中

リモコンの TEXT ボタンを押すたびに下記の順に表示します。
主に再生中の曲の情報を表示します。

● 停止中

リモコンの TEXT ボタンを押すたびに下記の順に表示します。 -- Title 表示中に ► ボタンを押すと、そのトラックの再生を開始します。

再生スピードを変えて聴く（ピッチコントロール）

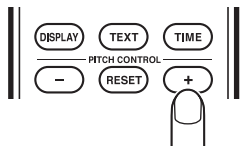
停止中にリモコンの SOUND MODE ボタンを何度か押し、表示に“Audio EX OFF”と表示させます。

Audio EX OFF

音楽 CD の場合のみ、再生スピード（ピッチ）を±12 段階の範囲まで変えて聴くことができます。

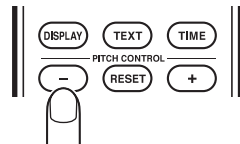
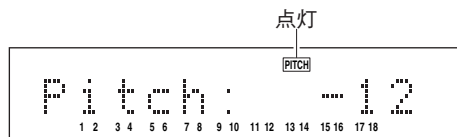
ご注意

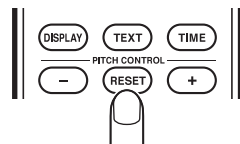
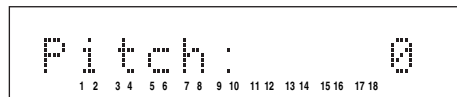
ピッチコントロール中はデジタル信号を出力しません。（ピッチコントロール設定が 0 の場合は出力します。）

■ 再生スピードを早くする

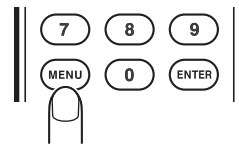
リモコンの PITCH ＋ ボタンを押します。

“PITCH” が点灯し、ボタンを押す度に再生スピードが早くなります（最大＋ 12 まで）。

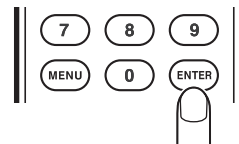
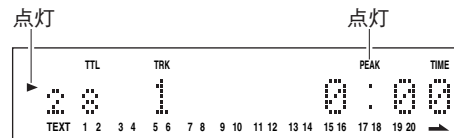
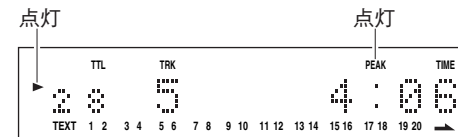
■ 再生スピードを遅くする

リモコンの PITCH ー ボタンを押します。

“PITCH” が点灯し、ボタンを押す度に再生スピードが遅くなります（最小ー 12 まで）。

■ 再生スピードを通常に戻す

リモコンの PITCH RESET ボタンを押します。

“PITCH” が消灯し、メイン表示部に“Pitch: 0” を表示します。
もう一度 PITCH RESET ボタンを押すと、設定していた再生スピードに戻ります。

最大音量の検出（ピークサーチ）

カセットデッキで録音レベルを調整するときに、ディスクの音量の大きいところで調整すると録音時の歪やノイズを避けることができます。本機では、ディスク全体またはプログラムされた曲の音量の比較的大きい位置の検出をエディット再生の前にすることができます。

1 停止中にリモコンの MENU ボタンを 1 回押します。“Peak”と表示します。

Peak

2 リモコンの ENTER ボタンを押します。

“PEAK” が点灯し、ディスクの 1 曲目からピークサーチ動作に入ります。

3 最後の曲のピークレベルサーチが終わると、音量の比較的大きい位置の前後約 6 秒間を繰り返し再生します。この間にカセットデッキの録音レベルを調整してください。（カセットデッキの取扱説明書を参照してください。）

4 ■ ボタンを押すとピーク部分の再生を停止します。

ご注意

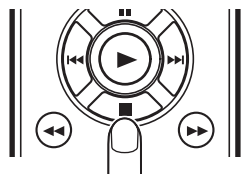
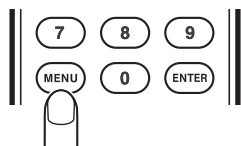
ディスクには音量の大きい位置が複数あるため、同じディスクでもピークサーチをするたびに、違う位置を検出することがあります。

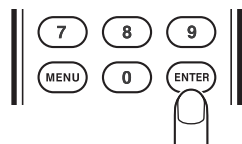
EDIT（エディット）

ディスクからテープに録音するときに、テープの長さに合わせて A · B 面に曲を振り分け、頭出し用の曲間を 4 秒ずつとりながら演奏する便利な機能です。

■ シンプルエディット

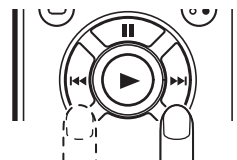
テープの長さに合わせて曲順どうりに再生します。

1 停止中にリモコンの MENU ボタンを押したあと、リモコンの ■ ボタンを押します。”Edit” と表示します。

Edit

2 リモコンの ENTER ボタンを押します。

“EDIT” が点灯し、エディットモードになり、ディスクの曲を A 面,B 面に振り分けます。

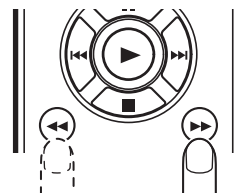
【表示例】 28 曲入りディスクの場合

例ではテープの録音時間は 90 分に設定されており、A 面に 1 曲目から 15 曲目まで、B 面に 16 曲目から 28 曲目までが振り分けられたことを示し、それぞれの面の最終曲を表示しています。

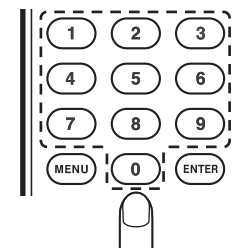
3 テープの録音時間を変えたい場合、リモコンの数字ボタン（0 〜 9）か、▶▶I、I◀◀ ボタンで、テープの録音時間を指定します。

- ▶▶I、I◀◀ ボタンの場合

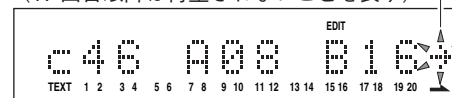
▶▶I ボタンを 1 回押すたびに 90 → 46 → 54 → 60 → 74 → 90 と録音時間を変更できます。

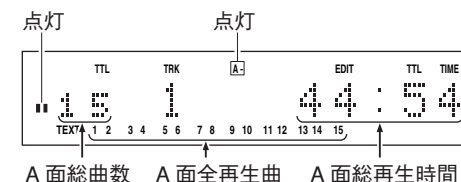
I◀◀ ボタンを 1 回押すたびに 90 → 74 → 60 → 54 → 46 → 90 と録音時間を変更できます。

- ▶▶、◀◀ ボタンの場合

▶▶ ボタンを 1 回押すたびに 1 分ずつ録音時間を増やすことができます。

◀◀ ボタンを 1 回押すたびに 1 分ずつ録音時間を減らすことができます。

- 数字ボタンの場合

C46 なら 4,6 と押します。

矢印が点滅します
（17 曲目以降は再生されないことを表す）

録音時間が 46 分の場合、この例では 1 曲目から 8 曲目までが A 面、9 曲目から 16 曲目までが B 面に自動的に曲が振り分けられたことを表示しています。右端の矢印により 17 曲目以降は演奏されないことを表示しています。

4 再びリモコンの ENTER ボタンを押しエディットの内容を確定します。

5 エディットレコーディング（→ 25 ページ）の手順に沿って演奏を行います。

■ プログラム エディット

ディスクからテープへ録音するときに、プログラムした曲をテープの長さにあわせて A · B 面に振り分けて演奏します。

1 “曲を好きな順番で聴く（プログラム再生）”（18 ページ）を参照し、プログラムをします。

2 以下の操作は“シンプルエディット”の 1 ～ 4 を参照して、プログラムエディット演奏をしてください。

■ デリートプログラムエディット

ディスクからテープへ録音するときに、テープの長さにあわせて録音したくない曲を飛ばして曲順に演奏します。

1 “聴かない曲をとばして再生する（デリートプログラム再生）”（19 ページ）を参照して、デリートプログラムをします。

2 以下の操作は“シンプルエディット”の 1 ～ 4 を参照して、デリートプログラムエディット演奏をしてください。

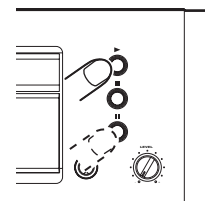
ご注意

- シンプル、プログラム、デリートプログラムの各エディット再生中は本機の STOP、OPEN/CLOSE、POWER ON/STANDBY ボタンのみ操作できます。（リモコンでの操作はできません。）これは誤操作による録音ミスを防ぐためです。
- EDIT 中は TEXT 表示はしません。時間表示のみです。

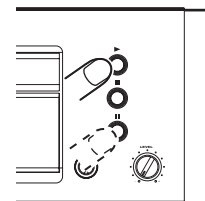
■ エディットレコーディング（録音）

ー カセットデッキに録音する場合

1 エディットの設定が完了したあとカセットデッキを録音開始にします。

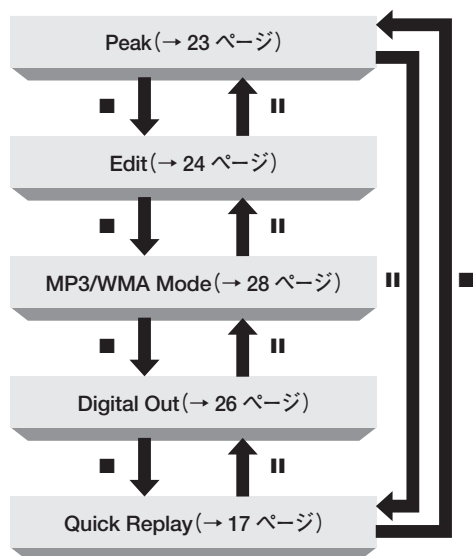
2 ► ボタンまたは ❚❚ ボタンを押して A 面分の曲を再生します。4 秒後に再生が開始します。

3 A 面分の曲が再生終了後は B 面分の曲の最初で一時停止状態になります。

4 テープの録音面を変更し録音を開始します。

5 ► ボタンまたは ❚❚ ボタンをを押して B 面分の曲を再生します。4 秒後に再生が開始します。

6 B 面分の曲が再生終了すると停止します。エディットプログラムも自動的に消去されます。

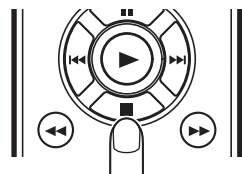
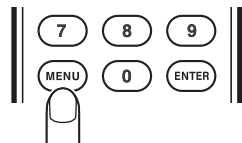
応用操作

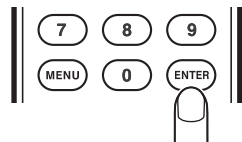
MENU について

以下の機能の選択及び設定を行なうことが出来ます。
停止中に、リモコンの MENU ボタンを押します。
リモコンの ■・⏸ ボタンを押し、項目を変更することが出来ます。

デジタル出力をオフにする

デジタルアウトを使用しない場合、デジタル出力を OFF にすると、より良い音質で楽しむことができます。

■ デジタルアウト オン／オフの設定をするには

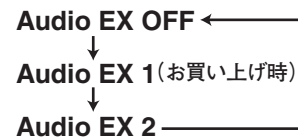
1 停止中に、リモコンの MENU ボタンを押し、リモコンの ■ ボタンを 3 回押します。“Digital Out”と表示されます。

Digital Out

2 リモコンの ENTER ボタンを押します。

ディスプレイに現在設定されている状態を表示します。
（お買い上げ時は、デジタルアウトオンに設定されています。）

3 ►►I／I◄◄ ボタンでオン／オフを切り替えます。

4 設定後 ENTER ボタンを押します。
通常の表示に戻ります。

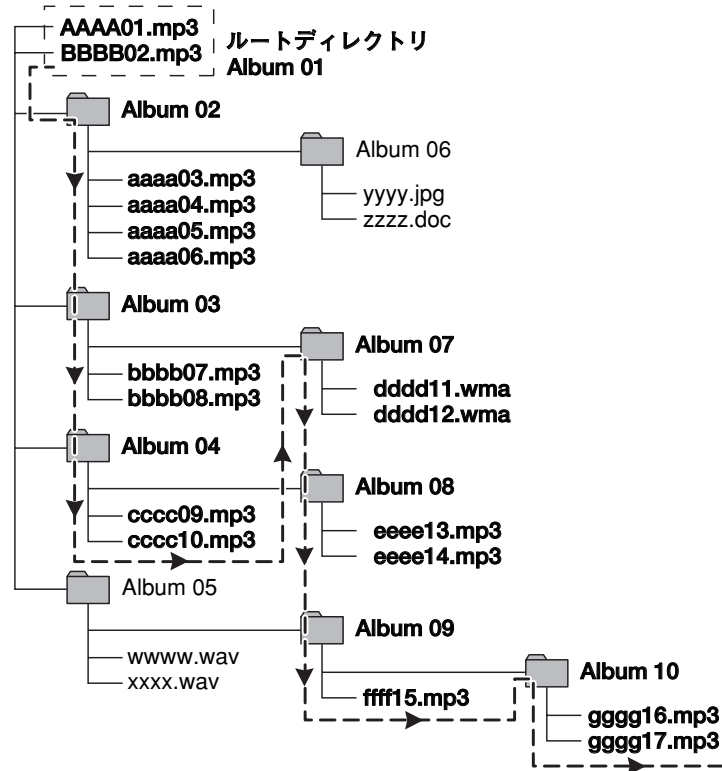
Audio EX を切り換える

より良い音質でお楽しみいただくために､Audio EX の設定を以下の様に選択することができます。
停止中にリモコンの SOUND MODE ボタンを押す毎に、下図のように切り替わります。

サウンドモード	ピッチコントロール	デジタル出力	ディスプレイ表示
Audio EX OFF： ピッチコントロール設定が0のときのみデジタル信号が出力されます。	使用出来ます	あり（※ 1）（ピッチコントロール設定が 0 の場合）	あり
Audio EX 1: お買い上げ時の設定です。Audio EX OFFより高音質でお楽しみいただけます。	使用出来ません	あり（※ 1）	あり
Audio EX 2: アナログの出力音声を一番高音質な状態でお楽しみいただけます。	使用出来ません	なし	なし（再生中）（※ 2）

（※ 1）MENU 内の Digital Out の設定（→ 26 ページ）が優先されます。
（※ 2）リモコンの DISPLAY ボタンを押すと､3 秒間ディスプレイが表示されます。

応用操作 ー MP3、WMA ファイルー

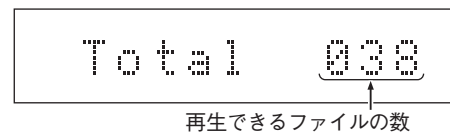
MP3／WMA データの再生順について

● MP3／WMA 再生順の例

● 再生順番

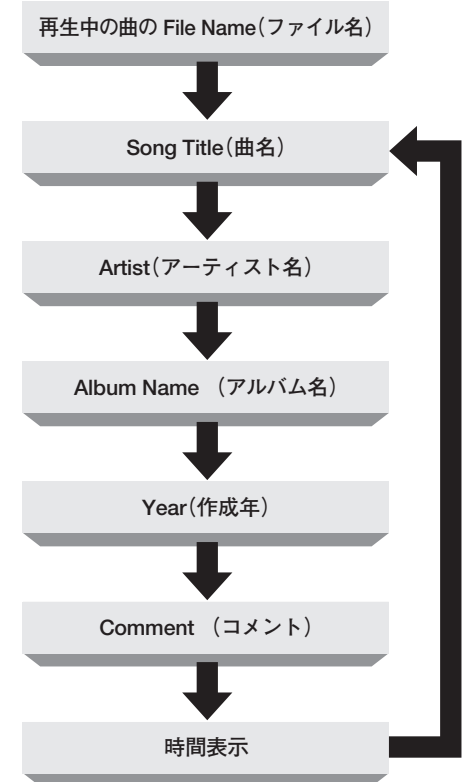
1	AAAA01.mp3	7	bbbb07.mp3	13	eeee13.mp3
2	BBBB02.mp3	8	bbbb08.mp3	14	eeee14.mp3
3	aaaa03.mp3	9	cccc09.mp3	15	ffff15.mp3
4	aaaa04.mp3	10	cccc10.mp3	16	gggg16.mp3
5	aaaa05.mp3	11	dddd11.wma	17	gggg17.mp3
6	aaaa06.mp3	12	dddd12.wma		

● 停止中の表示

Total　038

再生できるファイルの数

- 矢印付の点線（ー→ー）は MP3／WMA のフォルダとファイルの再生順を示しています。
- MP3／WMA ファイルをルートディレクトリのすぐ下に記録した場合、これらのファイルをフォルダにまとめて記録した MP3／WMA ファイルよりも先に優先して再生します。
- フォルダ名、ファイル名による再生の優先順位は、数字→アルファベット大文字→アルファベット小文字の順です。
- アルバム 01 ーアルバム 10
  図の例ではこの CD-ROM は 10 個のアルバム（フォルダ）を持っていますが、アルバム 05 と 06 内のファイルは MP3／WMA ファイルではないので再生しません。
  （ルートディレクトリも 1 つのアルバム（フォルダ）として数えます。）
- AAAA01.mp3 ー gggg17.mp3
  図の例ではこの CD-ROM は 17 個の MP3／WMA ファイルを持ち、“AAAA01”が初めに再生されるファイルで、“gggg17” が最後に再生されるファイルです。
- パソコン上で現われる順番と異なる場合があります。またライティングソフトによって変わる場合があります。

■ 文字情報の表示について

リモコンの TEXT ボタンを押すたびに下記の順に表示します。再生中は主に再生中のファイルの情報を表示します。

- MP3 または WMA ファイルによっては、表示されない場合があります。
- 表示情報が記録されていない項目はスキップします。
- 英数字のみ表示することができます。
- 停止中のときはディスク内の再生可能なファイルの数のみ表示します。

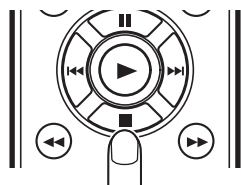
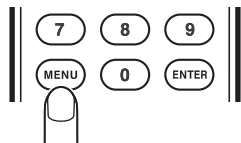
各部の名称
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
困ったときは
その他

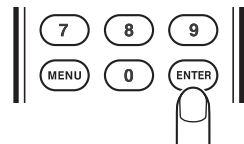
MP3／WMA 再生モードを選択する

MP3／WMA の再生モードを選択することが出来ます。

Cont. モード： ディスク内の全ての再生可能なファイルを再生します。（お買い上げ時）

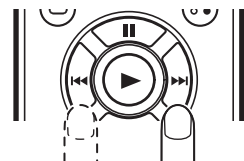
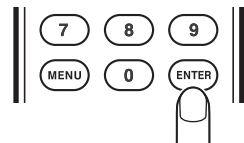
Folder モード： 選択したフォルダ内の再生可能なファイルを再生します。

1 停止中に、リモコンの MENU ボタンを押したあと、リモコンの ■ ボタンを 2 回押します。“MP3/WMA Mode”と表示されます。

MP3/WMA Mode

2 リモコンの ENTER ボタンを押します。設定されているモードが表示されます。

Mode:Cont.

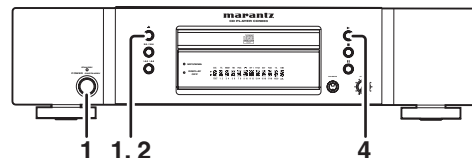
または

Mode:Folder

3 本機の ⏮/◀◀、▶▶/⏭ ボタンまたはリモコンの ⏮、⏭ ボタンを押すと表示が切り替わります。

リモコンの ENTER ボタンを押し選択します。

このとき本機の STOP ボタンまたはリモコンの STOP 及び CANCEL ボタンを押すと、中止されます。

ご注意

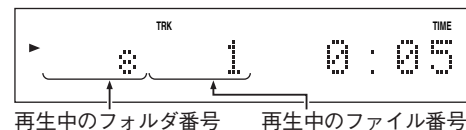
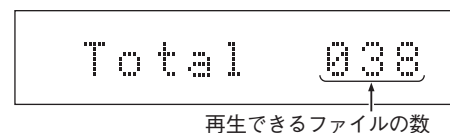
通常再生、ランダム再生および AMS 再生は、MP3／WMA 再生モードにより設定されたファイルを再生します。

再生する

1 電源を入れ、ディスクトレイに CD を入れます。

2 ディスクトレイを閉めると、表示部に“TOC Reading”と表示した後、再生可能なファイルの数が表示されます。

3 本機の ►（プレイ）ボタン、またはリモコンの ►（プレイ）ボタンを押すと、再生が始まります。アンプで音量を調整します。

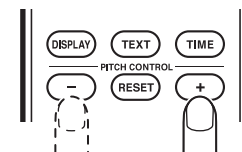
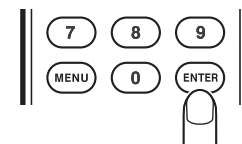
再生を一時停止する、再生を止める ,CD を取り出すの操作は音楽 CD の操作と同じです。（→ 12 ページ）

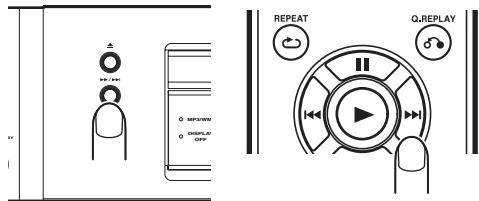
● 再生中の表示

● 停止中の表示

ご注意

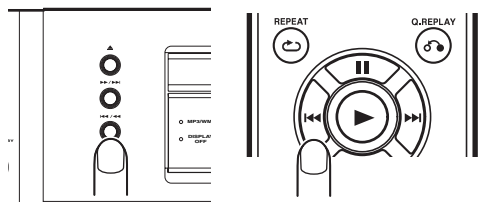
MP3／WMA ファイルを再生するとき、プログラム再生、ピッチコントロール等、一部の使用できない機能があります。

聴きたいフォルダを選ぶ

1 停止中にリモコンの＋、－ボタンを押してフォルダを選びます。

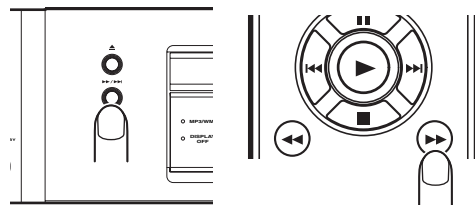
フォルダ名が表示されます。

2 リモコンの ENTER ボタンを押します。そのフォルダの最初のファイル名が表示されます。

聴きたいファイル(トラック)を再生する

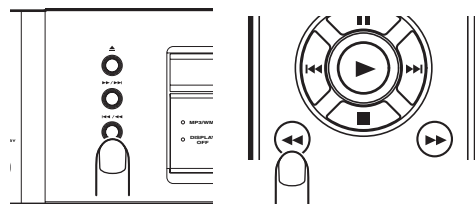
次のファイルに進む

進めたいファイルの数だけ本機の ►►/►►I ボタンまたはリモコンの ►►I ボタンを押します。

再生中のファイルの頭または前のファイルに戻る

本機の I◄◄/◄◄ ボタンまたはリモコンの I◄◄ ボタンを押すと、再生中のファイルの頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前のファイルに戻ります。

ファイルの中の聴きたい部分を再生する

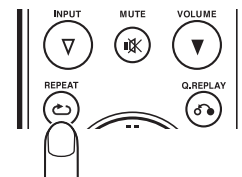
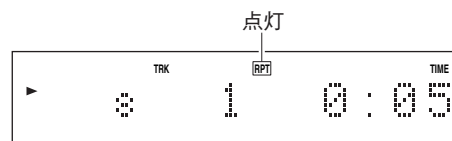
ファイルを再生中、聴きながら早送り／早戻しをして聴きたい部分を探すことができます。

再生中のファイルを早送りする

本機の ►►/►►I ボタンまたはリモコンの ►► ボタンを押しつづけるとサーチ(早送り)になります。

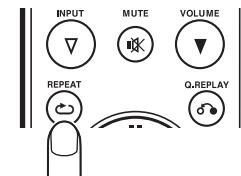
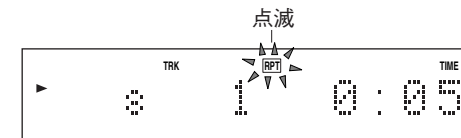
再生中のファイルを早戻しする

本機の I◄◄/◄◄ ボタンまたはリモコンの ◄◄ ボタンを押しつづけるとサーチ(早戻し)になります。

繰り返し聴く(リピート再生)

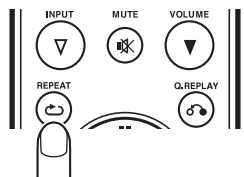
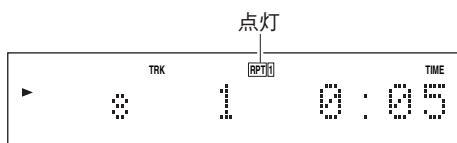
■ 全ファイルを繰り返し聴く(全ファイルリピート再生)

全ファイルを繰り返し再生します。
リモコンの REPEAT ボタンを押します。

表示窓の“RPT” インジケーターが点灯し、全ファイルを繰り返し再生します。

全ファイルリピートをやめて通常再生にするときは、リモコンの REPEAT ボタンを 3 回押します。表示窓の“RPT”インジケーターが消えます。

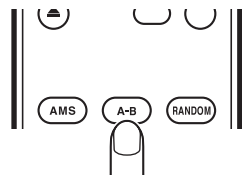
■ 1 つのフォルダだけを繰り返し聴く(フォルダリピート)

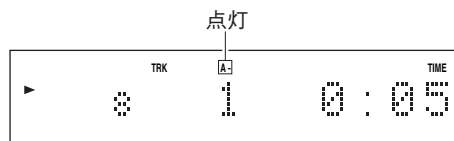
フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生します。
リモコンの REPEAT ボタンを 2 回押します。

表示窓の“RPT” インジケーターが点滅し、フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生します。

フォルダリピートをやめて通常再生にするときは、リモコンの REPEAT ボタンを 2 回押します。表示窓の“RPT”インジケーターが消えます。

■ 1 ファイルだけを繰り返し聴く（1 ファイルリピート再生）

1 ファイルだけを繰り返し再生します。繰り返し聴きたいファイルの再生中に、リモコンの REPEAT ボタンを 3 回押します。

“RPT”、“1”インジケーターが点灯し、再生中のファイルを繰り返します。

1 ファイルリピートをやめて通常再生にするときは、REPEAT ボタンを押して表示窓の“RPT”インジケーターを消します。

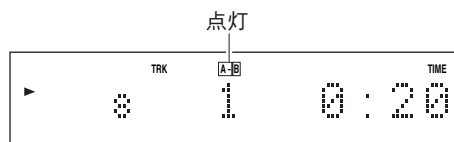
■ 指定した部分を繰り返し聴く（A-B リピート再生）

ファイルの中で聴きたい部分だけ指定して、繰り返し再生します。

1 再生中、繰り返し聴きたい部分の開始点で、リモコンの A-B ボタンを押します。

表示窓に“A-”インジケーターが点灯します。

2 繰り返し聴きたい部分の終わりで、リモコンの A-B ボタンを押します。

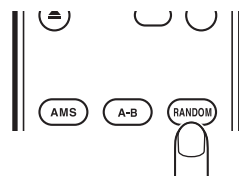
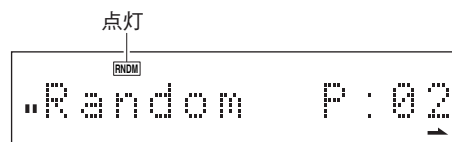
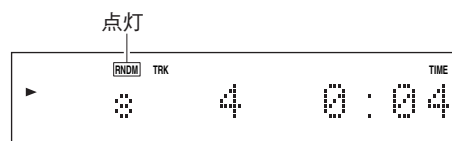
表示窓に“A-B” インジケーターが点灯し、指定した部分（A 点〜 B 点）を繰り返し再生します。

A-B リピートをやめて通常再生にするときは、リモコンの A-B ボタンを押して表示窓の“A-B” インジケーターを消します。

ご注意

- ランダム再生中、A-B リピート再生はできません。
- ファイルのビットレートが低いほど、B 点の設定が出来にくくなることがあります。

順不同でファイルを再生する（ランダム再生）

無作為（ランダム）にファイルの順番を並び変えて、順不同でファイルを再生します。リピート再生も合わせて使用すると、毎回違うファイルの順番で再生を繰り返すこともできます。

再生中、または停止中にリモコンの RANDOM ボタンを押します。

表示窓のミュージックカレンダーが流れるように点灯し、“RNDM”インジケーターが点灯します。

ランダム再生を開始します。

ランダム再生をやめて通常再生にするときは、リモコンの RANDOM ボタンを押します。表示窓の“RNDM”インジケーターが消えます。

■ ランダム再生中にトラックスキップし、ファイルの頭出しをする

ランダム再生中に本機の ▶▶/▶▶I ボタンまたはリモコンの ▶▶I ボタンを押すと、次のファイルを無作為に選び、再生します。

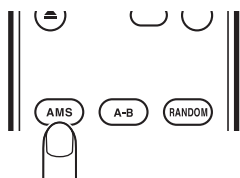
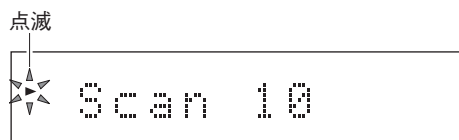
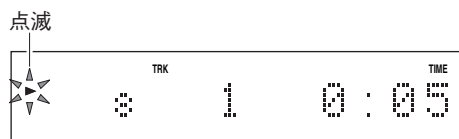
ランダム再生中に本機の I◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンの I◀◀ ボタンを押すと、再生中のファイルの頭に戻って再生します。

ご注意

MP3／WMA 再生モード（→ 28 ページ）により、設定されたファイルを再生します。

聴きたいファイルを探す（AMS 再生）

1 曲目から順番に全曲の冒頭を次々に再生しますので、聴きたい曲を探すときに便利です。
再生時間は、10、20、30 秒から選択できます。

停止中または再生中にリモコンの AMS（オートミュージックスキャン）ボタンを押します。

AMS ボタンを繰返し押すとモードが順番に変わります。
“ Scan 10 ”、“ Scan 20 ”、“ Scan 30 ”、“ Scan Off ”...
（Scan Off はスキャンを中止します）
表示窓に“►”インジケーターが点滅します。

1 ファイル目から順番に全ファイルの各冒頭を設定した時間（お買い上げ時は 10 秒）だけ次々に再生します。

聴きたいファイルが見つかったらもう一度 ► ボタンを押します。“►”インジケーターが点灯し、そのファイル以降を通常に再生します。
なお、AMS 再生中にリモコンの RANDOM ボタンを押すと AMS 再生は解除され、ランダム再生になります。

ご注意

MP3／WMA 再生モード（→ 28 ページ）により、設定されたファイルを再生します。

困ったときは

困ったときは下記の項目をチェックしてください。意外な操作ミスが故障と思われていることが あります。
下記の項目をチェックして直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの株式会社マランツコンシューマー マーケティング各営業所、又は当社サービスセンターにご相談ください。

症状	原因	対処法
ディスクが回らない	電源プラグがさされていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。(→ 11 ページ)
	本機の電源が入っていない。	本機の電源をオンにしてください。(→ 12 ページ)
	ディスクが正しい位置に入っていない。	ディスクを正しくのせてください。(→ 12 ページ)
	ディスクが裏表さかさまに入っている。(ディスクのレーベル面が下になっている)	ディスクを正しくのせてください。(→ 12 ページ)
	ディスクが汚れている。	ディスクの記録面をきれいにしてください。(→ 35 ページ)
	ディスクに傷がついている。	傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。(→ 35 ページ)
	ディスクが反っている。	ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。(→ 35 ページ)
ディスクは回るが音が出ない	アンプ・スピーカの接続が正しくない。	ケーブル類を正しく接続してください。(アンプの説明書をご覧ください。)
	アンプの電源がオンになっていない。	アンプの電源をオンしてください。(アンプの説明書をご覧ください。)
	アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD” または “AUX” 等(本機と接続した端子)に切替えられていない。	アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD” または“AUX” 等(本機と接続した端子)に切替えてください。(アンプの説明書をご覧ください。)
	アンプのボリュームが最小になっている。	アンプのボリュームを調整してください。(アンプの説明書をご覧ください。)

症状	原因	対処法
ディスクが途中で回らなくり、止まる	ディスクが汚れている。	ディスクの記録面をきれいにしてください。(→ 35 ページ)
	ディスクに傷がついている。	傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。(→ 35 ページ)
	ディスクが反っている。	ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。(→ 35 ページ)
	再生しているディスクが音楽 CD ではない。または MP3／WMA ファイルが記録されたディスクではない。	パソコン用の CD-ROM などは再生できません。(→ 34 ページ)
リモコン操作ができない	本機とリモコン間の距離が遠すぎる。	本機に近づき、操作範囲内で操作してください。(→ 6 ページ)
	本機とリモコン間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。(→ 6 ページ)
	リモコンの電池が切れている。	電池を全て新しいものに取り替えてください。(→ 6 ページ)
	本機の受光窓に強い光が当たっている。	受光窓に強い光が当たらないようにしてください。(→ 6 ページ)
	後面の REMOTE CONTROL スイッチが EXTERNAL 側になっている。	本機を単独で使用する場合には INTERNAL 側にしてください。(→ 15 ページ)
CD-R/CD-RW ディスクが再生できない	ディスクが裏表さかさまに入っている。	ディスクを正しくのせてください。(→ 12 ページ)
	記録されている情報が音楽用(CD-DA) フォーマットではない。または MP3 ／ WMA ファイルが正しく記録されていない。	本機に対応した正しい情報を記録してください。(→ 34 ページ)
ピッチコントロール操作ができない	Audio EX OFF に設定されていない。	Audio EX OFF に設定してください。(→ 23,26 ページ)
デジタルアウトが出ない	デジタルアウトの設定がオフ(Off) になっている。	デジタルアウトの設定をオン(On) にしてください。(→ 26 ページ)
	Audio EX の設定が Audio EX2 になっている。	Audio EX の設定を Audio EX1 にしてください。(→ 26 ページ)
	Audio EX の設定が Audio EX OFF になっており、ピッチコントロールを使用している。	ピッチコントロール設定を 0 に設定してください。(→ 23 ページ) または、Audio EX の設定を Audio EX1 にしてください。(→ 26 ページ)

その他

■ 仕様

オーディオ特性

チャンネル ....2 チャンネル
周波数特性 ....2 Hz ～ 20 kHz
ダイナミックレンジ ....100 dB
S／N比 ....110 dB
チャンネルセパレーション ....110 dB（1 kHz）
高調波歪率 ....0.002 %（1 kHz）
ワウフラッター ....水晶精度
音声出力 ....2.25 V RMSステレオ
ヘッドフォン出力 ....18 mW／32Ω（可変最大）
デジタル出力
　同軸出力（ピンジャック） ....0.5 Vp-p 75Ω
　光出力（角型光コネクター） ....-19dBm

光学読み取り方式

レーザー ....AlGaAs 半導体
波長 780nm

信号方式

サンプリング周波数 44.1kHz
量子化対応 ....16ビット・リニアPCM

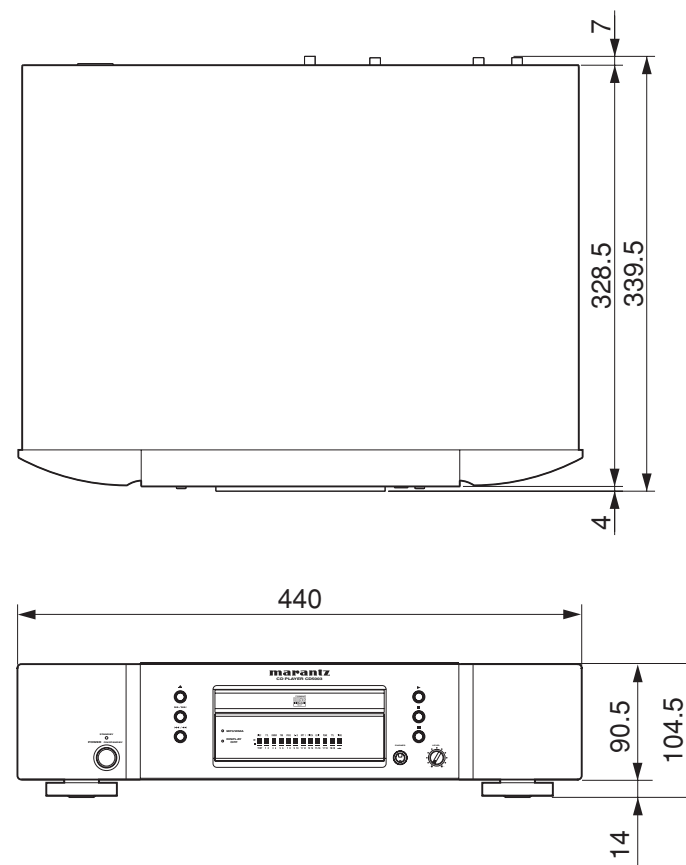
電源部

電源 ....AC 100V 50／60Hz
消費電力（電気用品安全法） ....14 W
待機消費電力 ....0.4 W

キャビネット・その他

付属品
　リモコン 1個
　単4乾電池 2個
　電源コード 1本
　オーディオケーブル（赤・白） 1組
　リモート接続ケーブル（オレンジ） 1本
最大外形寸法
　幅 ....440 mm
　高さ ....104.5 mm
　奥行き ....339.5 mm
質量 ....5.1 kg
許容動作温度 ....＋5℃ ～ ＋35℃
許容動作湿度 ....5～90 %（結露のないこと）

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することが ありますのでご了承ください。

■ 外観寸法図（単位 mm）

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

その他

■ CD-R／CD-RW ディスクの再生について

本機では従来のオーディオ CD や CD-R（Recordable）に加え、CD-RW（ReWritable）ディスクの再生も可能です。

- 本機は音楽 CD フォーマット、または MP3 の音楽データが記録された CD-R／CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- CD-R や CD-RW の再生には必ず TOC* が正しく記録されていることが必要です。CD レコーダーでは TOC 情報を書き込むことをファイナライズ（Finalize）といい、この作業が正常に完了していないディスクは、通常の CD プレーヤーでは音楽 CD として正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくは CD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

  * TOC（トック）とは Table Of Contents の略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報のことです。
- 再生できるのは音楽用の CD-DA フォーマットまたは MP3／WMA の音楽データで記録されたディスクのみです。その他のデータが記録されたディスクは再生しないでください。
- CD-RW ディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、音楽 CD や CD-R に比べ TOC の読み込みに時間がかかることがあります。

■ MP3／WMA ファイルの再生について

本機は MP3（MPEG Audio Layer3）または WMA（Windows Media Audio）ファイル形式で記録されたデータファイルを CD-R、CD-RW に書き込んだディスクでの再生が可能です。
また、MP3 の ID3 タグに対応しており、ID3 タグ情報が記録されているファイルではトラックタイトル、アーティスト名、アルバムタイトルなどを表示することができます。

- Windows Media，Windows ロゴは米国、その他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ご注意

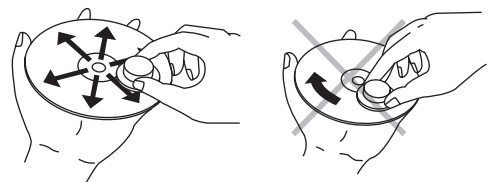
- 本機で対応している規格は“MPEG-1 Audio Layer-3”（サンプリング周波数 fs は 32、44.1、48kHz）です。それ以外の“MPEG-2 Audio Layer-3”、“MPEG-2.5Audio Layer-3”および MP1、MP2 などには対応していません。
- 一般にビットレートが高いほど音質が良くなります。

  MP3 の対応ビットレートは 32 ～ 320 kbps、WMA は 64 ～ 160 kbps です。本機では 128kbps 以上のビットレートで記録された MP3／WMA のご使用をおすすめします。
- MP3／WMA ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。“.MP3”“.WMA”以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
- プレイリストには対応していません。
- ディスク 1 枚あたりの再生出来るファイル数は最大 255 で、フォルダ数は最大 255 です。
- 本機は 32 文字までのフォルダ名やファイル名を表示できます。
- 本機は、MP3 ID3 タグに対応しています。
- MP3 を再生した時に表示される ID3 タグ情報やファイル名の文字情報は日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。
- 可変ビットレートファイルの再生時には、正しく時間表示されないことがあります。
- CD-R や CD-RW に書き込むフォーマットは ISO9660 モード 1 またはモード 2 で書き込みをしてください。また、マルチセッションに対応していますので、追加で書き込みしたデータの再生もできます。
- パケットライトで記録された MP3／WMA ファイルは再生できません。
- 記録したデータの状態によっては曲情報を読み取るのに時間がかかる場合があります。
- 音楽用のフォーマット CD-DA と MP3／WMA ファイルが混在したエンハンスド CD およびミックス CD は、音楽用のフォーマット CD-DA のみ再生します。
- WMA DRM（著作権保護）ファイルの再生には対応していません。

■ ディスクの取扱いかた

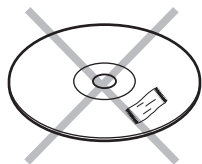
★ ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

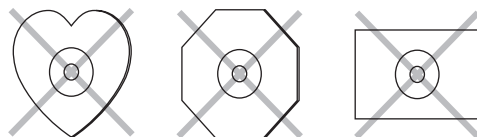
★ ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

● 放射状方向にふいてください。

● 円周方向には、ふかないでください。

★ ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

★ 特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

★ ディスクレーベル面に［CDロゴ］ COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

CD規格外ディスクを使用された場合には、再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

★ ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

★ ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。

■ コピーコントロールCD（コピーガード付CD）について

コピーコントロールCD（コピーガード付CD）は、現在のCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様のCD再生機器による再生の状態を保証致しかねます。

通常CDを用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様のCD再生機器の不具合ではございません。

なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

■ DualDiscの再生について

- “DualDisc”は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- “DualDisc”の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

その他

■ 著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カセット、CDなど)、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
  したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

■ お手入れ

- 本機が汚れた時は、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を5〜6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、良く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんに添付の注意事項を良くお読みください。

■ ステレオ音のエチケット

- 楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。
  隣近所に迷惑が掛からないような 音量でお聞きください。
  特に静かな夜間には小さな音でも周囲には良く通るものです。
  窓を閉めるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ ヘッドホンのご使用について

ヘッドホンの音量が大きすぎると、耳を傷めることがあります。音量が大きくならないよう注意してください。

■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
   お買い上げ販売店又は当社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理について。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の当社営業所、サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度"故障とお考えになる前に"をご参照の上よくお調べください。
   それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1) 品名　CDプレーヤー
2) 品番　CD5003
3) シリアルナンバー(製造番号)
4) お買い上げ日　年　月　日
5) 故障の状況(できるだけ具体的に)
6) ご住所
7) お名前
8) 電話番号